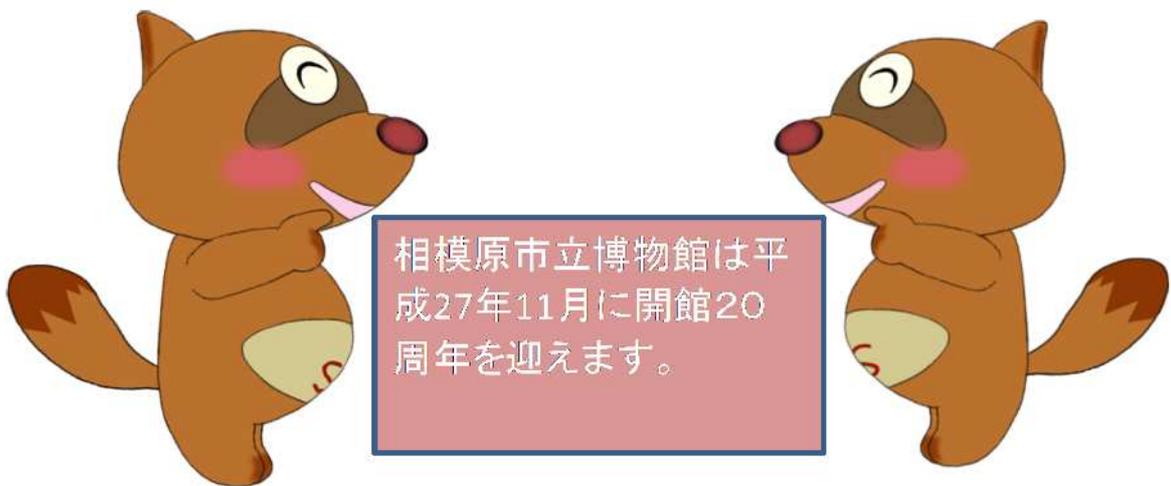


平成26年度

# 相模原市立博物館 年報



相模原市立博物館  
SAGAMIHARA CITY MUSEUM

平成27年4月1日

目 次

相模原市立博物館概要 .....	1
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
3   1   1   1   1	
4   1   1   1   1	
管理運営 .....	5
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
3   1   1   1   1	
4   1   1   1   1	
教育普及 .....	9
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
3   1   1   1   1	
4   1   1   1   1	
5   1   1   1   1	
6   1   1   1   1	
7   1   1   1   1	
8   1   1   1   1	
9   1   1   1   1	
10   1   1   1   1	
11   1   1   1   1	
資料管理 .....	34
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
3   1   1   1   1	
4   1   1   1   1	
5   1   1   1   1	
調査研究 .....	40
1   1   1   1   1	
市史・町史編さん .....	41
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
博物館関連施設 .....	45
1   1   1   1   1	
1   1   1   1   1	
2   1   1   1   1	
3   1   1   1   1	
4   1   1   1   1	

## 相模原市立博物館概要

### 1 設立の経緯

昭和 53 年 12 月、郷土懇話会や文化協会ほか 8 団体の連名で「博物館設置要望書」が市長に提出された。翌年、文化関係 6 団体からなる文化財研究協議会が結成され、ここで博物館設立について熱のこもった論議が行われた。設立総会での神崎彰利氏の講演「郷土の文化を守るために = 地域博物館の意義と役割」を理論的柱として、建設促進のための活動が展開された。

こうした市民の積極的な行動と同時に、昭和 55 年、市総合計画の中に「博物館・美術館などの文化施設の検討」が盛り込まれ、昭和 56 年 4 月に社会教育課に博物館準備係が設置され、博物館設立の第一歩が踏み出された。設立の過程で幾つかの問題があったが、最大の難問は建設用地で、旧米軍キャンプ淵野辺跡地処分決定に 6 か年を要したが、博物館をつくる懇話会が提言した“自然環境にめぐまれた”用地が確保された。

平成 7 年 11 月 20 日（市制記念日）に開館。開館後は 1 階の常設展示やプラネタリウムを中心に、特別展や講座・教室・観察会など、子どもから年長者までだれもが楽しく学べるよう、さまざまな事業を行っている。

### 2 設置目的

郷土の自然及び文化並びに天文に親しむとともに、これらに関する理解を深める場を市民に提供することにより、郷土を愛する心をはぐくみ、生涯学習の振興を図り、もっていきいきとした市民文化の創造に寄与するため、博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条第 1 項に規定する博物館として、相模原市立博物館を相模原市中央区高根 3 丁目 1 番 15 号に設置する。（市立博物館条例第 2 条）

当館の特徴...自然（動物・植物・地質・天文部門）、人文（考古・歴史・民俗部門）両分野にわたる総合博物館で、プラネタリウムを併設する博物館法に基づく登録博物館（H7.11.20 神奈川第 32 号）

### 3 博物館略年表

年 月	事 項
昭和 5 5 年 4 月	相模原市総合計画に建設の検討が盛り込まれる
昭和 5 6 年 4 月	社会教育課に博物館準備係を設置
昭和 5 6 年 6 月	博物館をつくる懇談会を設置
昭和 5 6 年 1 0 月	博物館をつくる懇談会から建設構想策定の提言
昭和 5 8 年 2 月	(仮称)相模原市立博物館基本構想策定
昭和 5 8 年 6 月	展示専門委員会の設置
昭和 5 9 年 3 月	博物館展示基本計画の策定
平成 2 年 1 1 月	国有財産関東地方審議会において博物館建設用地の処分が認められる。(仮称)相模原市立博物館建設基本計画策定
平成 3 年 4 月	博物館建設事務所設置
平成 3 年 5 月	建築設計候補者選考委員会の設置
平成 3 年 7 月	建築設計プロポーザル提案図書提出
平成 3 年 8 月	建築設計者の決定 博物館をつくる懇談会市長へ意見書を提出し解散
平成 3 年 9 月	建築基本設計着手
平成 4 年 1 月	建設用地の取得 展示プロポーザル提案図書の提出
平成 4 年 2 月	展示設計・施工候補者選考委員会設置 展示設計・施工者の決定
平成 4 年 5 月	建設実施設計及び展示実施設計着手 プラネタリウム等候補機種選考委員会の開催
平成 5 年 6 月	博物館建設工事・展示工事・プラネタリウム等設備工事契約
平成 6 年 8 月	天体観測機器設置工事契約
平成 7 年 3 月	相模原市立博物館条例制定 登録原簿への登録を受ける(記号番号 神奈川第 3 2 号)
平成 7 年 7 月	博物館建設工事竣工
平成 7 年 1 0 月	展示工事・プラネタリウム等工事・天体観測機器設置工事竣工
<b>平成 7 年 11 月 20 日 開館</b>	
平成 8 年 5 月	入館者 1 0 万人達成記念式典(5 月 1 9 日)
平成 8 年 1 0 月	平成 8 年度第 4 1 回神奈川建築コンクール最優秀賞受賞
平成 9 年 4 月	障害者・高齢者・ひとり親家庭等の家族に対するプラネタリウム観覧料等の免除施策開始

平成 9 年 4 月	隣接地に淵野辺公園第 2 駐車場（50 台収容）が完成し、博物館駐車場と一体的な運用開始
平成 9 年 5 月	1997 年度日本建築学会作品選奨受賞
平成 9 年 10 月	平成 9 年度通商産業省選定グッド・デザイン施設受賞
平成 9 年 11 月	平成 9 年度第 38 回建築業協会賞受賞
平成 11 年 11 月	<b>11/21 入館者数 50 万人を超える</b>
平成 12 年 5 月	公共建築賞優秀賞受賞
平成 16 年 1 月	<b>1/18 入館者数 100 万人を超える</b> 入館者 100 万人達成セレモニー
平成 17 年 4 月	市立博物館シンボルマークを制定
平成 17 年 10 月	開館 10 周年記念特別展「博物館 10 年の歩み」を実施 <b>10/22 入館者数 120 万人を超える</b>
平成 18 年 10 月	博物館資料調査員 2 名を配置（19 年 4 月より 4 名配置）
平成 22 年 4 月	管理係が企画情報班に組織変更。市史編さん班新設（業務移管）
平成 22 年 7 月	小惑星探査機はやぶさのカプセル世界初公開
平成 23 年 4 月	天文展示室リニューアルオープン
平成 23 年 8 月	<b>8/28 入館者数 200 万人を超える</b> 入館者 200 万人達成セレモニー
平成 24 年 2 月	全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」の観覧者が 5 万人を超える
平成 25 年 7 月	吉野宿ふじやリニューアルオープン
平成 25 年 8 月	小惑星「イトカワ」の微粒子世界初公開
平成 26 年 12 月	小惑星探査機「はやぶさ 2」打上げパブリックビューイング開催

## 4 平成 26 年度 博物館 重点目標

### 重点目標

より親しまれる博物館とするため、積極的な情報発信及び調査研究を進めるとともに、開館 20 周年である平成 27 年度に向け、市民、大学等との協働による事業実施を進めます。

- ・ JAXA 等との連携した『宇宙教育普及事業の推進』を図ります。
- ・ 市民協働による展示手法等の検討により『常設展示リニューアル計画の推進』を図り、全市域を網羅した一体感のある展示を目指します。
- ・ 市民協働提案制度を活用し、「情報ネットワークセンター事業」、「吉野宿ふじや活性化事業」、「尾崎弔堂記念館活性化事業」を推進し、『博物館ネットワーク計画の推進』を図ります。
- ・ 積極的な博物館情報の発信を行います。
- ・ 市民、大学との協働はもとより、民間企業との連携・協働の取組み、民間企業のノウハウの活用などの研究を進めます。

## 重点施策（取り組むべき事業）

次の事業を実施し、博物館入館者数の増加を図ります。

### (1) 宇宙教育普及事業

JAXA等と連携した企画展の開催  
講座・講演会等を月1回実施。  
宇宙・天文分野における支援ボランティアの育成。  
プラネタリウム機器更新の検討。

### (2) 博物館常設展示リニューアル事業

ボランティアとの協働による展示内容の検討。

### (3) 博物館ネットワーク計画の推進

提案団体と協働で情報ネットワークの構築を図る。  
「情報ネットワークセンター事業」(「みんなでつくる相模原知的探求散策アルバム」)  
の実施。  
「吉野宿ふじや活性化事業」の実施。  
「尾崎弔堂記念館活性化事業」(「尾崎行雄の業績と弔堂桜を広める事業」)の実施。

### (4) 博物館施設及び博物館関連施設の維持保全

市公共施設マネジメント指針に沿った適切な維持保全を図ります。

### (5) 市史・町史編纂事業

相模原市史「文化遺産編」を刊行します。  
津久井町史「通史編 近世・近代・現代」を刊行します。

### (6) 博物館評価の実施

博物館評価を実施し、より親しまれる博物館を目指します。

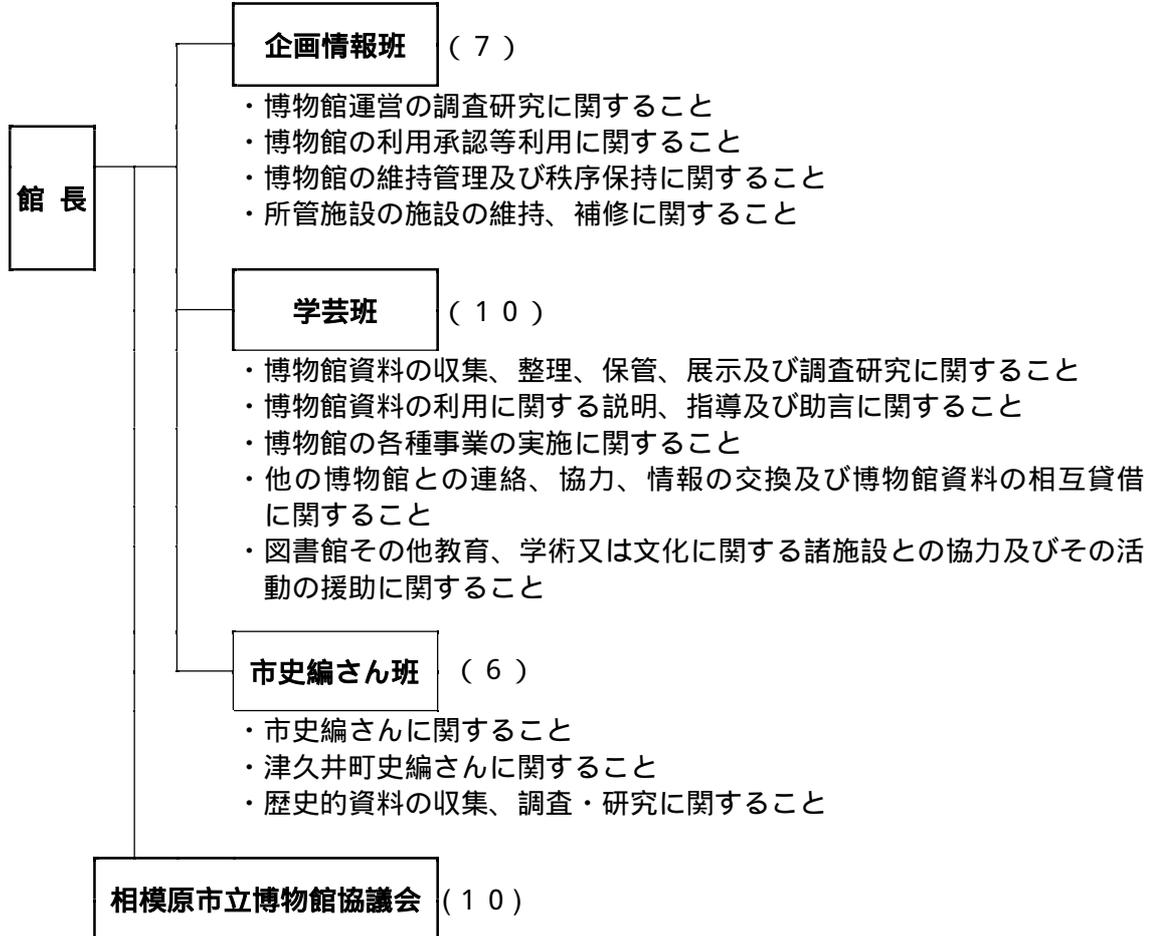
## 施策の取り組み方針

- 1 顧客第一主義の徹底を図るとともに、危機管理意識をもって取り組みます。
- 2 施設利用者や事業参加者の視点を大切にしながら事業を実施します。
- 3 よりわかりやすい博物館情報の発信を行い、積極的に事業のPRを図ります。
- 4 基礎的な資料の収集・整理と保存を確実にを行い、その研究成果を事業に生かします。

## 管理運営

### 1 組織及び職員

#### (1) 組織と事務分掌



#### (2) 職員

(平成 27 年 3 月 31 日現在)

	参事兼館長	菊地原 恒市
企画情報班	総括副主幹	佐々木 春美
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主査	方波見 淳
	主査	肱岡 実穂子
	主任(再任用)	横山 正
	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	古瀬村 智充
学芸班	総括副主幹	木村 知之
	指導主事	渡邊 直展
	副主幹(学芸員)	山田陽志郎(天文)
	副主幹(学芸員)	土井 永好(歴史)
	副主幹(学芸員)	加藤 隆志(民俗)
	主査(学芸員)	正 洋樹(考古)
	主査(学芸員)	秋山 幸也(生物)

(平成 27 年 4 月 1 日現在)

	参事兼館長	佐藤 正五
企画情報班	総括副主幹	佐々木 春美
	主査	松木 悟
	主査	物江 隆
	主査	方波見 淳
	主査	肱岡 実穂子
	主任(再任用)	井上 明
	主任(再任用)	古瀬村 智充
	学芸班	総括副主幹
副主幹		三沢 長次
副主幹(学芸員)		加藤 隆志(民俗)
主査(学芸員)		木村 弘樹(歴史)
指導主事		福井 智之
主査(学芸員)		岸 篤宏(天文)
主査(学芸員)		秋山 幸也(生物)

平成 26 年度相模原市立博物館年報

	主査（学芸員）	河尻 清和（地質）		主査（学芸員）	河尻 清和（地質）
	主任	有田 和人（天文）		主任	有田 和人（天文）
	主任（再任用）	杉本 芳秋		主任（再任用）	高橋 進
市史編さん班	担当課長（市史編さん班担当）	蔦野 正明	市史編さん班	担当課長（市史編さん班担当）	蔦野 正明
	副主幹	長谷川 章		副主幹	長谷川 章
	副主幹（町史担当）	守屋 博文		副主幹（町史担当）	守屋 博文
	主査	井上 泰		主査	井上 泰
	主査（町史担当）	草薙 由美		主任（町史担当）	荒井 望
	主任（再任用）	加藤 康雄		主任（再任用）	尾崎 當
非常勤特別職	嘱託職員 2名			学習指導員 2名	
	市史編さん調査員 1名			市史編さん調査員 1名	

## 2 博物館協議会

### (1) 趣 旨

博物館法に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関。

### (2) 委員構成 任期2年

平成25年11月20日～平成27年11月19日

氏 名	備 考	選出区分
奈良 美 紀	小学校教諭	学校教育
鳴 原 ふみ子	高等学校校長	
戸 塚 厚 生	市文化財研究協議会会長	社会教育
森 山 小百合	市立小中学校PTA連絡協議会	
井 上 博 美	市女性学習グループ連絡協議会 副会長	家庭教育
小 瀬 康 行	東京家政学院大学教授 会長	学識経験者
青 木 雄 司	神奈川県公園協会職員	
羽 生 宏 人	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所准教授	
田 口 正 男	市民公募	
今 井 眞 弓		

### (3) 活動状況

回	開催日	お も な 内 容
1	7月3日(木)	・平成25年度事業報告及び26年度博物館事業の概要について ・平成25年度の活動評価について
2	10月9日(木)	・答申案「博物館の活動状況に関する評価」について
3	3月3日(火)	・平成26年度の活動について ・今後の博物館の評価の方法について

### 3 施設

#### (1) 施設概要

ア 敷地面積	9,999.48 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
イ 構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造
ウ 規模	地下1階・地上3階建て
エ 建築面積	5,081.03 <sup>m</sup> <sup>2</sup>
オ 延床面積	9,510.24 <sup>m</sup> <sup>2</sup>

	用途・面積	主な室	内 容
展示・教育	展示スペース (1,907 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	自然・歴史展示室 (1,170 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	「川と台地と人々の暮らし」をテーマに5つのコーナーから構成され、実物資料はもとより精密なレプリカやジオラマなどを利用し、具体的で分かりやすい展示がされている。
		天文展示室 (127 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	「宇宙とつながる」をテーマに、JAXA から借用した実物資料や、隕石、太陽望遠鏡のライブ映像など、身近に感じる資料を用いて、宇宙についての分かりやすい展示がされている。
		特別展示室 (487 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	常設展示とは別に、様々なテーマでの特別展示が行われる。
	学習スペース (453 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	実習実験室 (90 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	各種講座・観察会等を開催 6卓 48席
		情報サービスコーナー (127 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	郷土の自然や歴史に関する記録映像、参考図書を収集。子ども向けの図書もあり、自由に閲覧できる。
		大会議室 (237 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	各種講座・講演会等を開催 椅子席で200人収容
プラネタリウム (648 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	プラネタリウム (648 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	室内に210席を配置し、小学校の一つの学年が一度に観覧できる。スクリーンは直径23mのドーム型で、星空等の投影のほか大型映像(全天周映画)を上映できる。	
保管・研究	研究スペース (1,038 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	市民研究室 (294 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	自然と歴史分野の研究室が2階にあり、天文分野の研究室が1階にある。専門書の利用や学芸員への相談が行える。
		天体観測室 (74 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	口径40cmの反射望遠鏡が設置され、星空観望会等で実際に天体の観測を体験できる。
		整理作業室ほか	博物館資料の整理や調査研究を行うための諸室が設置されている。
収蔵スペース (1,570 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	特別収蔵庫ほか	各分野別資料を良好な状態で安全に保存するため、温湿度管理及び警備を行っている。	
管理・共用	管理・共用スペース (3,894 <sup>m</sup> <sup>2</sup> )	事務室、喫茶室 ミュージアムショップほか	休憩コーナーや軽食のとれる喫茶室、博物館関連のグッズを販売するミュージアムショップ、博物館の管理運営のための事務室や機械室がある。

#### (2) 施設機械管理

施設の設備運転・保守、警備、清掃業務は外部委託している。

消防訓練 平成26年7月17日(木)

平成27年1月30日(金)

## 4 予 算

(単位：千円)

款	項	目	科目名	26年度予算額	27年度予算額	財源内訳	26年度
50	20	05	生涯学習施設維持補修費	70	50	一般財源	70
						特定財源	0
50	20	45	博物館費	343,138	264,896	一般財源	262,912
						特定財源	80,226
計				343,208	264,946		343,208

### 生涯学習施設維持補修費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
1 1 需用費	70	経費内訳		
			26年度	27年度
		1 施設修繕料	70	50
計	70	計	70	50

### 博物館費

節		説 明		
区分	金額	博物館の運営及び維持管理に要する経費		
0 1 報酬	4,469	経費内訳		
0 4 共済費	381		26年度	27年度
0 7 賃金	8,397	1 博物館協議会経費	311	331
0 8 報償費	21,277	2 施設運営費	58,889	61,731
0 9 旅費	887	( 1 ) 資料収集保存経費	4,972	7,780
1 1 需用費	162,919	( 2 ) 資料調査研究経費	2,283	3,632
1 2 役務費	1,297	( 3 ) 展示・教育普及事業経費	19,058	14,825
1 3 委託料	124,523	( 4 ) プラネタリウム事業経費	32,044	34,980
1 4 使用料及び賃借料	13,723	( 5 ) その他運営費	532	514
1 8 備品購入費	360	3 施設維持管理費	236,653	169,779
1 9 負担金、補助及び交付金	4,887	4 市史編さん事業	41,022	29,458
2 7 公課費	18	( 1 ) 相模原市史編さん事業	21,221	11,107
		( 2 ) 津久井町史編さん事業	19,801	18,351
		5 協働事業提案制度事業	4,762	2,015
		( 1 ) 吉野宿ふじや活性化事業	1,100	1,315
		( 2 ) 情報ネットワークセンター事業	2,782	0
		( 3 ) 尾崎弉堂記念館活性化事業	880	700
		6 一般事務費	1,501	1,582
計	343,138	計	343,138	264,896
合計	343,208	合計	343,208	264,946

平成 26 年度相模原市立博物館年報

教育普及

1 入館者数

(1) 26年度計 126,631 人 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(2) 総計 2,473,913 人

(3) 詳細

月	入館者数	プラネタリウム総数	プラネタリウム内訳			特別展	星空観望会	講演会 講座等	観覧料	開館 日数	1日 平均
			一般投影	全天周 映画	学習投影						
4月	8,607	3,173	1,478	1,695	—	4,983	28	661	¥ 1,037,250	25	344
5月	9,155	2,924	1,981	677	266	3,804	301	872	¥ 961,730	27	339
6月	10,417	3,757	1,746	850	1,161	5,456	74	935	¥ 1,034,810	25	417
7月	15,276	5,801	2,467	2,855	479	7,016	77	1,137	¥ 1,851,030	27	566
8月	19,968	10,714	4,956	5,758	—	12,457	424	1,413	¥ 3,393,500	27	740
9月	9,048	3,422	1,732	880	810	2,564	206	371	¥ 1,001,790	24	377
10月	8,778	2,946	1,224	708	1,014	2,681	244	588	¥ 770,390	27	325
11月	11,665	5,434	1,339	869	3,226	5,018	151	642	¥ 804,020	26	449
12月	6,883	2,446	570	910	966	4,182	117	1,259	¥ 482,130	22	313
27年1月	8,790	3,186	1,172	1,070	944	6,176	77	1,383	¥ 746,200	24	366
2月	8,499	4,094	1,695	678	1,721	6,274	170	895	¥ 830,590	23	370
3月	9,545	3,919	1,636	1,638	645	5,759	129	1,188	¥ 1,058,510	26	367
26年度計	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥ 13,971,950	303	418

\* (参考) 開館からの総計

7年度	78,395	38,262	16,796	12,688	8,778	22,199	618	836	¥ 11,099,520	107	733
8年度	125,599	58,023	26,849	20,571	10,603	36,682	1,237	3,186	¥ 18,187,120	300	419
9年度	105,793	43,355	18,654	16,055	8,646	28,388	1,104	3,167	¥ 12,233,880	300	353
10年度	107,306	45,038	18,577	17,747	8,714	24,779	624	5,696	¥ 12,820,900	299	359
11年度	115,031	53,660	20,759	23,651	9,250	36,670	665	5,255	¥ 15,325,720	295	390
12年度	111,161	46,879	17,302	18,777	10,800	31,658	634	5,258	¥ 11,921,600	302	368
13年度	132,776	59,062	20,169	28,312	10,581	57,647	910	4,574	¥ 14,329,780	305	435
14年度	119,068	48,791	19,702	18,277	10,812	55,672	925	4,277	¥ 12,221,160	303	393
15年度	126,120	53,625	18,655	24,859	10,111	51,538	1,133	6,873	¥ 13,904,050	302	418
16年度	111,610	45,780	19,555	16,139	10,086	39,551	1,050	5,148	¥ 11,562,090	300	372
17年度	116,552	52,466	19,404	22,223	10,839	47,479	844	5,725	¥ 12,776,280	301	387
18年度	113,605	52,948	16,783	25,516	10,649	49,588	773	6,896	¥ 14,321,720	303	375
19年度	122,375	49,875	15,973	23,156	10,746	58,218	925	8,245	¥ 13,369,000	304	403
20年度	128,124	52,294	18,612	22,017	11,665	58,436	1,294	11,517	¥ 13,831,800	303	423
21年度	136,000	50,540	16,458	23,109	10,973	64,653	1,846	9,681	¥ 13,679,160	303	449
22年度	182,880	78,991	22,457	44,068	12,466	103,988	1,861	6,249	¥ 25,095,880	301	608
23年度	137,608	61,648	24,887	24,099	12,662	70,716	1,283	9,438	¥ 17,780,860	306	450
24年度	138,619	55,377	30,731	12,011	12,635	68,305	2,228	9,100	¥ 15,274,420	307	452
25年度	138,660	55,905	26,798	16,260	12,847	76,722	2,369	10,114	¥ 15,334,880	306	453
26年度	126,631	51,816	21,996	18,588	11,232	66,370	1,998	11,344	¥ 13,971,950	303	418
総計	2,473,913	1,054,335	411,117	428,123	215,095	1,049,259	24,321	132,579	¥ 289,041,770	5,850	8,658

## 2 企画展等

### (1) 相模原市の遺跡 2014 「境川流域の開発と暮らし」

ア 内容 相模野台地と多摩丘陵の間を流れる境川に焦点を当てた。境川の右岸・左岸（相模原市・町田市（八王子市））における旧石器時代から古代までの遺跡を歴史的に取り上げ、境川流域がどのように開発され、また人々がどのように暮らしてきたかを探る。これにより郷土の理解と親しみを市民に紹介する機会として各種展示を行った。

イ 期間 3月21日（金）～5月6日（火）

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 7,206人 総合計10,139人

カ 関連事業

「発掘調査発表会」 近年市内で実施された発掘調査の成果を調査担当者が発表を行った

実施日 4月20日（日）

参加者 107人

ワークショップ「オリジナルのまが玉を作ろう」

実施日 4月29日（火）・5月4日（日）

参加者 延べ 424人

展示解説 4月13日（日）・5月6日（火）

講師 当館職員、文化財保護課職員

参加者 延べ 71人

### (2) 松橋利光写真展「相模原の生きもの見つけた！」 (3)と同時開催

ア 内容 相模原市出身の写真家松橋利光さんの写真を通して相模原の生きものを紹介した。

イ 期間 5月24日（土）～6月29日（日）

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 7,037人

カ 関連事業 松橋利光ギャラリートーク「生きものカメラマン、相模原の自然を語る」

実施日 5月24日（土）

参加者 54人

### (3) 収蔵品展「蔵の中の世界 ～市民の力で博物館資料へ～」 (2)と同時開催

ア 内容 市民（福の会）とともに整理を行っている福田家の蔵に保管されていた婚礼用具や衣類をはじめ、麻溝地区から寄贈された信仰や講中などの資料を展示した。

イ 期間 5月24日（土）～6月29日（日）まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 7,037人

カ 関連事業 5月25日（日）・6月8日（日）、6月22日（日）には、展示作業に当たった福の会の会員が説明を行った。

参加者 延べ 433人

### (4) 企画展「JAXA × 博物館 太陽にいどむ～日時計から太陽観測衛星まで～」

ア 内容 今、太陽について何がわかっており、何がわかっていないのか、その観測の歴史をたどると同時に最新のデータを活用して太陽の科学を紹介し、JAXA 監修のもと、観測機器や太陽観測衛星の模型等を展示した。

イ 期間 7月12日（土）～8月31日（日）まで

ウ 観覧料 無料  
エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ  
オ 観覧者 延べ 19,473人  
カ 関連事業

記念講演会「太陽観測衛星「(ひので)の発見」

日時 7月21日(月)

講師 殿岡英顕さん(JAXA開発員)

参加者 67人

工作教室「日時計を作ろう！」

日時 7月30日(水)

講師 小野行雄さん(日時計作家)

参加者 57人

担当学芸員による展示説明

日時 8月2日(土)・10日(日)・16日(土)・24日(日)・30日(土)

講師 当館学芸員

参加者 延べ 96人

(5) 秋季企画展 「尾崎弔堂没後60年展」 ~弔堂と支策の人びと~

ア 内容 尾崎行雄(弔堂)は幕末の津久井又野に生まれ、新しい日本の出発とともに高い見識と揺るぎない信念をもって政治活動の発展に尽くした人物である。今年、弔堂が95年余の生涯を閉じてからちょうど60年の時を迎えた。没して還暦となる年に政治家としてばかりでなくひとりの生活者の側面にも目を向け、ゆかりの資料を見てもらい、もう一度新しく尾崎行雄の半生を振り返る展示を行った。

イ 期間 企画展 9月13日(土)~10月13日(月)

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 4,075人

カ 関連事業

記念講演会「憲政と弔堂」 9月28日(日)

日本の立憲政治のあらましと郷土出身の政治家・尾崎弔堂の関わりについて、分かりやすく講演を行った。

講師 小林正弥さん(千葉大学大学院教授)

参加者 102人

展示説明 10月5日(日)

講師 当館学芸員、尾崎行雄を全国に発信する会会員

参加者 24人

(6) 北里研究所創立100周年・北里大学創立50周年特別記念展

「北里の弟子たち-北里柴三郎の贈り物-」

ア 内容 北里柴三郎博士が設立した北里研究所は平成26年に創立100周年を迎え、同研究所が創設した北里大学は既に平成24年に創立50周年を迎えた。相模原市に学術拠点を構える北里大学は、学祖北里柴三郎博士の精神を継承し、地域との連携を推進しながら、先進医療と救急医療の実践による社会貢献に努める一方で、高等教育を持って社会に有為な人材の育成にも努めてきた。今回の特別展では近代日本医学の黎明期を築いた北里柴三郎博士とその後継者たちの業績を紹介した。

イ 期間 10月25日(土)~11月16日(日)まで

ウ 観覧料 無料

エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ

オ 観覧者 延べ 4,433人

カ 関連事業 講演会「北里博士の理念を継承した門下生たち」

実施日 10月26日(日)  
 講師 森孝之さん(北里柴三郎記念室次長・特任講師・医学博士)  
 参加者 53人

**(7) 学習資料展 大地さんと未来さんが見つける「ちょっと昔の暮らし 1~戦争と生活~」**  
 \* (8)(9)と同時開催

ア 内容 本市の核兵器廃絶平和都市宣言30周年にちなみテーマを「戦争と生活」とした。  
 戦時中の人々の暮らしの様子や戦地に旅立つ兵士、それを見送った家族の思いなどをつづった。戦争の記憶が薄れていく昨今小中学生の皆さんに実物資料を自分の目で確かめ、先人の苦労や思いそして「平和」について考える場として資料展を開催した。

イ 期間 11月26日(水)~平成27年4月5日(日)まで  
 ウ 観覧料 無料  
 エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ  
 オ 観覧者 延べ 24,146人(3月31日まで)  
 カ 関連事業 チャレンジ体験コーナー(お手玉、ヨーヨー、けん玉など)  
 日時 11月29日(土)ほか10回  
 参加者 延べ 2,030人(3月31日まで)

**(8) 核兵器絶滅平和都市宣言30周年記念事業**

**2014 市民平和のつどい「ながさき 戦争・原爆被災展」** \* (7)と同時開催

ア 内容 犠牲者が着用していた背広や、原爆炸裂の瞬間の時刻で止まっている時計など、実物資料や被災状況の写真を展示した。重厚なテーマの展示だが、来年、戦後70年となるのを機に改めて平和と核兵器廃絶について正面から向き合うための展示とした。

イ 期間 11月26日(水)~平成27年2月1日(日)まで  
 ウ 観覧料 無料  
 エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ  
 オ 観覧者 延べ 12,568人  
 カ 関連事業

長崎の被爆者による講話  
 家族の被爆証言

日時 11月28日(金)・29日(土) 手話通訳、要約筆記付  
 参加者 延べ 95人  
 主催 相模原市 共催 長崎市 公益財団長崎平和推進協会 渉外課

**(9) 相模原市の遺跡2015 相模原発掘最新情報「塚」の考古学-なぜ人は土を盛ったのか-**  
 \* (7)と同時開催

ア 内容 「塚」は、墓、目印、信仰の対象などの目的で、人為的に土を盛って築造されたものであり、本展では、古墳や富士塚などの市内に所在する様々な「塚」に注目した。  
 これまで調査された古墳や、近年調査されたその他の塚などの展示を通じて、我々の祖先がなぜ土を盛ったのか、そしてその塚にどのような意味を見出したのかを探った。

イ 期間 平成27年2月7日(土)~3月29日(日)  
 ウ 観覧料 無料  
 エ 広報 市広報、ホームページ、ポスター、チラシ  
 オ 観覧者 延べ 10,317人  
 カ 関連事業

展示解説

実施日 2月15日(日)・3月22日(日)・3月29日

参加者 延べ 62人  
講師 当館学芸員  
「発掘調査成果発表会」 近年市内で実施された発掘調査の成果を調査担当者が発表を行った。  
発表者 中山経一さん(株)武蔵文化財研究所)  
実施日 3月22日(日)  
参加者 150人  
講演会 「考古学から見た『塚』」  
講師 時枝務さん(立正大学教授・宗教考古学)  
実施日 3月22日(日)  
参加者 170人

### 3 講座・講演会・教室・観望会等の事業

#### (1) 民俗講座「地元再発見～各地区の民俗から考える(相模原地域編)」

ア 内容 近世の18か村(相模原地域)が七か村に統合された明治22年に成立した近代村を単位に各地区の民俗を取り上げ、その様相や移り変わり、特徴等について捉えた。  
イ 実施日 平成26年6月14日～27年3月14日(毎月1回・全10回)  
ウ 参加者 延べ 977名  
エ 講師 当館学芸員

#### (2) 民俗講演会「神奈川県と道祖神信仰」

ア 内容 神奈川県内の道祖神信仰の特徴を全国的な様相の中に位置付けつつ、道祖神信仰の歴史的、地域的な様相について考えた。  
イ 実施日 4月27日(日)  
ウ 参加者 108名  
エ 講師 倉石忠彦さん(國學院大学名誉教授)

#### (3) ワークショップ「博物館でネット記者デビュー」

ア 内容 展示室をカメラを持って取材し、WEBで発表を行った。  
また、簡単な趣旨説明、展示室の確認、取材上の注意事項、プロのフォトグラファーによる説明を受けて館内の取材を行い、最後にワークシートを埋め、記事を作成した。  
イ 実施日 4月29日(火)・5月3日(土)  
ウ 参加者 延べ 36名  
エ 講師 神奈川工科大学情報メディア学科白井研究室、阿部章仁さん(フォトグラファー)、当館学芸員

#### (4) 地質学講座「厚木市七沢の地質」

ア 内容 厚木市七沢の岩石や地形を観察し、丹沢山地の成り立ちについて学習した。  
イ 実施日 5月10日(土)～5月31日(土) 全4回  
ウ 参加者 延べ 54名  
エ 講師 当館学芸員

#### (5) さがみはら宇宙の日

ア 内容 毎月1回研究者を招き、講演やワークショップを開催した。このうち、偶数月は平成25年度に引き続き「あかつきトークライブ」と題し、金星探査機「あかつき」について、そのミッションを振り返るとともに、研究者を囲んでトークライブ等を開催した。

- イ 実施日
- 4月19日(土) あかつきトークライブ 「雷で探る惑星の大気」
  - 5月11日(日) 「昼間の月を天体望遠鏡で見てみよう！」
  - 6月21日(土) あかつきトークライブ 「日本の月惑星探査と『あかつき』」
  - 7月21日(月) 「太陽観測衛星(ひので)の発見」企画展記念行事
  - 8月24日(日) あかつきトークライブ 「紫外線での惑星観測～色のな  
りたち～」
  - 9月23日(火) 「彗星と小惑星」
  - 10月5日(日) あかつきトークライブ 「あかつきの電波科学」
  - 11月15日(土)・16日(日) 「昼間の星を見よう」
  - 12月20日(土) あかつきトークライブ 「計算機の中の金星大気」
  - 1月12日(月) 「超大型30m望遠鏡 TMTで見る宇宙」
  - 2月7日(土) あかつきトークライブ 「探査機の姿勢制御」
  - 3月22日(日) 昼間の金星を見る会

ウ 参加者・講師

- 76人 高橋幸弘さん(北海道大学大学院理学研究院教授)
- 72人 当館学芸員
- 76人 石井信明さん(JAXA宇宙科学研究所教授)
- 67人 殿岡英顕さん(JAXA開発員)
- 72人 山崎敦さん(JAXA宇宙科学研究所助教)
- 52人 当館学芸員
- 69人 今村剛さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)
- 宮本麻由さん(東京大学大学院理学系研究科博士課程)
- 延べ163人 当館学芸員
- 70人 杉山耕一朗さん(JAXA宇宙科学研究所研究員)
- 105人 家 正則さん(国立天文台教授)
- 96人 成田伸一郎さん(JAXA宇宙科学研究所開発員)
- 153人 当館学芸員

総計1,071人

(6) 星空観望会

- ア 内容 季節に応じた天体観測により天文知識の普及を図った。
- イ 実施回数 計27回(月2回金曜日または土曜日、8月は5回開催・定員120名)
- ウ 参加者 延べ1,998人
- エ 対応 当館職員、プラネタリウム解説員、星空観望会補助者、市民学芸員

(7) 博物館のまわりのミニ観察会

- ア 内容 博物館周辺で身近な生きものを観察した。
- イ 実施日 4月26日(土)～26年3月22日(土) 全12回
- ウ 参加者 延べ142人
- エ 講師 当館学芸員

(8) 民俗探訪会「上溝から下溝地区を歩く」

- ア 内容 市立博物館で活動する市民ボランティア(民俗調査会)が学芸員と共に、上溝地区南部から下溝北部地域について、社寺や石仏などを案内した。
- イ 実施日 5月14日(水)
- ウ 参加者 39人
- エ 講師 当館学芸員及び民俗調査会A会員

**( 9 ) 若田光一宇宙飛行士帰還パブリックビューイング**

- ア 内 容 若田飛行士が帰還する模様をリアルタイムでインターネット中継した放送を博物館エントランスで視聴した。  
イ 実施日 5月14日(水)  
ウ 参加者 108人

**( 10 ) だいち2号打ち上げパブリックビューイング**

- ア 内 容 だいち2号の打ち上げの模様をリアルタイムでインターネット中継した放送を博物館エントランス、プラネタリウムの会場で視聴した。  
イ 実施日 5月24日(土)  
ウ 参加者 195人

**( 11 ) 「はやぶさの日」特別無料上映**

- ア 内 容 「はやぶさの日」を記念して、全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH~帰還バージョン DC版」・「HAYABUSA BACK TO THE EARTH~2009年バージョン」、プラネタリウム「はやぶさ2の挑戦~新たな小惑星探査へ~」を無料で上映した。  
イ 実施日 6月13日(金) 全4回  
ウ 観覧料 無料(整理券)  
エ 観覧者数 延べ 279人

**( 12 ) 火山灰を顕微鏡で見よう**

- ア 内 容 火山灰に含まれている鉱物を顕微鏡で観察した。  
イ 実施日 6月22日(日)  
ウ 参加者 104人  
エ 講 師 当館学芸員、相模原地質研究会、相模原青陵高校地球惑星科学部

**( 13 ) ワークショップ「スマ歩!さがみはら~博物館のココがスキ!~」**

- ア 内 容 市立博物館で参加者のお気に入りの展示や場所の写真を撮って、ホームページで公開を行った。  
イ 実施日 7月19日(土)~7月24日(木) 全5回  
ウ 参加者 延べ 462人  
エ 講 師 神奈川工科大学情報メディア学科白井研究室  
当館学芸員

**( 14 ) 博物館で楽しく学ぼう「夏休み子ども学習相談」**

- ア 内 容 夏休みの自由課題・研究などについて、学芸員や学習指導員がアドバイスをを行った。  
イ 実施日 7月19日(土)~8月31日(木)  
ウ 参加者 延べ 70人  
エ 講 師 当館学芸員、学習指導員

**( 15 ) JAXA相模原キャンパス特別公開関連イベント 宇宙学校スペシャル**

- ア 内 容 JAXAの研究員がそれぞれの研究内容を分かりやすく解説し、子どもたちなどから寄せられる質問に答えた。  
イ 実施日 7月25日(金)・26日(土) 宇宙学校は2回、トークイベントは1回  
ウ 参加者 トークイベント 延べ 258人  
宇宙学校スペシャル 延べ 183人

(16) 子ども鉱物教室「鉱物のふしぎ」

- ア 内容 ミョウバン結晶の育成実験や鉱物の硬さ比べなどを通して、鉱物についての初歩を学習した。
- イ 実施日 8月1日(金)、8月8日(金) 全2回
- ウ 参加者 延べ 59人
- エ 講師 当館学芸員、相模原地質研究会、神奈川県立相模原青陵高校地球惑星科学部

(17) 夏休み親子天文教室「手づくり天体望遠鏡」

- ア 内容 親子で天体望遠鏡工作キットを組み立て、天体を観望した。
- イ 実施日 8月3日(日)
- ウ 参加者 89人
- エ 講師 天文担当職員、プラネタリウム解説員、博物館天文ボランティア

(18) 大日野原遺跡発掘調査 現地説明会

- ア 内容 市立博物館と中央大学との共同で発掘調査中の遺跡とこれまでに出土した遺物の解説を行った。
- イ 実施日 8月5日(火)
- ウ 参加者 40人
- エ 講師 中央大学大学院生他

(19) 「めざせ！生きものマスター」

- ア 内容 生き物の観察や飼育方法、図鑑の調べ方などを、学芸員、司書、プロカメラマン、ペットショップ店長たちと一緒に学んだ。「生きもの」がテーマのブックトークや図書館、博物館の利用案内も行った。
- イ 実施日・場所 8月20日(水)(相模大野図書館) 8月27日(水)博物館 全2回
- ウ 参加者 延べ 49人
- エ 講師 当館学芸員、図書館司書、松橋利光さん(動物カメラマン)、後藤貴浩さん(ペット店オーナー)

(20) 「天文教室」

- ア 内容 年内に打ち上げ予定の「はやぶさ2」探査機計画概要や、大型天体望遠鏡で小惑星を見つけ出す方法を学んだ。
- イ 実施日 8月17日(日)～9月11日(木) 全5回
- ウ 参加者 延べ 178人
- エ 関連事業 「はやぶさ2最新情報講演会」
- 内容 絶体絶命の危機を乗り越えて奇跡的に帰還した小惑星探査機「はやぶさ」は、多くの人に感動をを与えた。そして年内にははやぶさの後継機である「はやぶさ2」が宇宙へ旅立ちます。現在の状況はどうなっているのか。その最新情報を講演した。
- 実施日 8月17日(日)
- 参加者 110名
- 講師 吉川真さん(JAXA宇宙科学研究所准教授)

(21) 探検！クイズラリー！！

- ア 内容 自然・歴史及び天文展示室の内容を問題に設定し、クイズラリー形式で、小学生を中心とした来館者に展示内容を知らせる機会とした。
- イ 実施日 8月23日(土)、8月24日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 638人
- エ 案内 市民学芸員

( 2 2 ) 植物画教室「花の観察と植物画」

- ア 内 容 植物を正確に描いて花や葉の構造を知り、自然の造形の美しさを学んだ。
- イ 実施日 9月6日(土)・9月7日(日) 全2回
- ウ 参加者 延べ 37人
- エ 講 師 豊田路子さん(植物画家)

( 2 3 ) 市史講演会「市民意識の形成」-市民は相模原市を愛しているか-

- ア 内 容 市民意識の形成と変化について、市史現代テーマ編を例にわかりやすく紹介した。
- イ 実施日 9月21日(日)
- ウ 参加者 44名
- エ 講 師 大島英夫さん(相模原市史現代テーマ編調査執筆員)

( 2 4 ) 初心者のための考古学講座

- ア 内 容 市内の遺跡を取り上げ、郷土の歴史について学んだ。
- イ 実施日 10月12日・11月9日、12月14日、平成27年1月11日 (全4回)
- ウ 参加者 延べ 102人
- エ 講 師 当館学芸員

( 2 5 ) ひまわり8号打上げパブリックビューイング

- ア 内 容 種子島宇宙センターからH-Aロケット25号によって静止気象衛星ひまわり8号が打ち上げられた模様をリアルタイムでインターネット中継した放送を博物館エントランスで視聴した。
- イ 実施日 10月7日(火)
- ウ 参加者 50人

( 2 6 ) 皆既月食を楽しむつどい

- ア 内 容 夕刻から夜更け前のおよそ3時間、宵の夜空に赤く変身していく皆既月食の様子を観望した。
- イ 実施日 10月8日(水)
- ウ 参加者 223人

( 2 7 ) 「スペースシュミレーターによる太陽系のミニ解説」

- ア 内 容 天文教室の横にあるスペースシュミレーターを使い、太陽系のミニ解説を行った。
- イ 実施日 10月25日(土)11月29日(土)
- ウ 参加者 16人、14人
- エ 講 師 当館学芸員

( 2 8 ) 「昼間の月を見る臨時観望会」

- ア 内 容 臨時に昼間の月を観測した。
- イ 実施日 10月29日(水)・30日(木)
- ウ 参加者 延べ 18人
- エ 講 師 当館学芸員

( 2 9 ) 第6回民俗探訪会「淵野辺周辺の伝説の地を歩く」

- ア 内 容 淵野辺地区の著名な伝説が残る地について学芸員と民俗調査会会員が案内し、社寺や石仏などのポイントごとに説明した。
- イ 実施日 11月12日(水)
- ウ 参加者 34人
- エ 講 師 当館学芸員及び民俗調査会A

( 3 0 ) 学びの収穫祭

- ア 内 容 博物館で活動するボランティアグループや、学芸員が関わる学校の部活動などが、日頃の活動の成果を口頭、展示で発表した。
- イ 実施日 11月15日(土)・16日(日)
- ウ 参加者 延べ 150人

( 3 1 ) 「はやぶさ2」打上げパブリックビューイング

- ア 内 容 「はやぶさ2」の打ち上げの様子をパブリックビューイングで第一部・第二部に分けて放映し、プラネタリウム会場、エントランス及び大会議室の3箇所を観覧した。(プラネタリウム会場は要整理券)
- イ 実施日 12月3日(水)
- ウ 観覧者 延べ 804人

( 3 2 ) 「はやぶさ2」打上げ応援特別上映

- ア 内 容 「はやぶさ2」の打上げを記念して、全天周映画「HAYABUSA BACK TO THE EARTH~帰還バージョン DC 版」・「HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE」の2本を上映した。(有料)
- イ 実施日 12月3日(水)
- ウ 観覧者 延べ 89人

( 3 3 ) 「砂を顕微鏡で見よう」

- ア 内 容 日本各地の砂の中に含まれている鉱物や岩石を顕微鏡で観察した。
- イ 実施日 12月21日(日)
- ウ 参加者 51人
- エ 講 師 当館学芸員

( 3 4 ) 「繭うさぎづくり」

- ア 内 容 市民学芸員の指導のもとで、繭うさぎを作成した。
- イ 実施日 平成27年1月25日(日)
- ウ 参加者 200人
- エ 講 師 市民学芸員

( 3 5 ) スマ歩さがみはら：ふちのべ Ingress 初詣

- ア 内 容 Google が提供する仮想現実ゲーム「Ingress」を活用したイベントを開催し、博物館に普段来ない層の来館を促すとともに、博物館近辺の文化財解説を行った(神奈川工科大学情報学部情報メディア学科白井研究室との協働事業)。
- イ 実施日 平成27年1月4日(日)
- ウ 参加者 延べ30人
- エ 講 師 白井暁彦さん(神奈川工科大学准教授)

( 3 6 ) 春よ来い! 相模原 Ingress 豆まき!

- ア 内 容 Google が提供する仮想現実ゲーム「Ingress」を活用したイベントを開催し、博物館に普段来ない層の来館を促すとともに、博物館近辺の文化財解説を行った。Google が公認する First Saturday イベントとして開催し、企画・運営を Ingress プレイヤー有志ボランティアと共に行った(神奈川工科大学情報学部情報メディア学科白井研究室との協働事業)。
- イ 実施日 平成27年2月7日(土)
- ウ 参加者 延べ63人
- エ 講 師 白井暁彦さん(神奈川工科大学准教授)、Ingress プレイヤー有志

(37) 歴史講演会「オランダ商館医師・ケンペルが見た元禄日本

～将軍綱吉への謁見旅行から～

- ア 内容 オランダ東インド会社に所属し、長崎出島に努めたドイツ人医師・博物学者のエンゲルベルト＝ケンペル。彼の日本見聞記録は後に国際的ベストセラーとなる『日本史』にまとめられた。二度にわたる江戸参府で観察した元禄期の日本の姿を異文化をテーマに講演が行われた。
- イ 実施日 平成27年2月22日(日)
- ウ 参加者 136人
- エ 講師 ベアトリス・M・ボダルト＝ベイリーさん(大妻女子大学教授)

(38) 公開講座「はやぶさ」から伝えたい創る力の育て方

- ア 内容 新しいことに挑戦することに躊躇しては決して新しい成果は得られない。「やれる理由を見つけて挑戦しない限り成果は得られない。」伝えたい創る力の育て方を題材にし、講演会を実施した。
- イ 実施日 平成27年3月7日(土)
- ウ 参加者 112人
- エ 講師 川口淳一郎さん(独立行政法人宇宙航空研究開発機構シニアフェロー)
- オ 主催 相模原市教育委員会(総合学習センターとの共催)

(39) 『まちだ・さがみはら 絆・創・光 × JAXA』相模原会場

- ア 内容 市民・事業者・行政が手を携えて協働し【絆】、節電など一人ひとりができることを実践し【創】、そうした行動を積み重ねて街ぐるみの取組とすることにより生活や事業活動に支障のない範囲で消灯して星を仰ぐ【光】ことで、改めて東日本大震災を思い返し、「地球温暖化防止」や「大気環境(光害)」について考え、節電や省エネ活動につなげていくものです。
- イ 実施日 平成27年3月6日(金)及び7日(土)
- ウ 参加者 76人(6日(星空観望会)32人、7日(講演会)44人)
- エ 講師 大川拓也さん(JAXA宇宙科学研究所)
- オ 主催 町田市環境資源部環境・自然共生課及び相模原市環境経済局環境共生部環境政策課事業を後援

## 4 プラネタリウム・全天周映画

(1) 平成26年度観覧者合計 51,816人

(2) 一般投影(プラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成(所要約40分)
- イ 番組 「人類は火星をめざす～若田宇宙飛行士、2度目の長期滞在～」  
4月1日(火)～6月6日(金)
- 「はやぶさ2の挑戦～新たなる小惑星探査へ」  
6月7日(土)～6月15日(日)
- 「太陽を見つめて～太陽観測衛星「ひので」の成果と新たなるナゾ～」  
6月17日(火)～8月31日(日)
- 「月を楽しむ～皆既月食と「かぐや」が見た月の世界～」  
9月2日(火)～11月9日(日)
- 「まだ見ぬ星をめざして～「はやぶさ2」新たなる旅立ち～」  
11月11日(火)～2月1日(日)
- 「南十字星と逆さまオリオン～南半球から見た星空～」  
平成27年2月3日(火)～3月31日(火)

ウ 観覧者 延べ 11,350人

(3) 一般投影 (こどもプラネタリウム)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説と企画番組で構成 (所要約 40 分)  
親子で一緒にプラネタリウムを楽しめる番組として、平成 23 年度から新規に投影を開始した。
- イ 番組 「1、2、3、4 星空あそび」  
4 月 1 日 (火) ~ 12 月 27 日 (土)  
「ワクワクさがぼん! 惑星めぐり」  
平成 27 年 1 月 4 日 (日) ~ 3 月 31 日 (火)
- ウ 開始時間 土・日・祝日・特別上映期間... 午前 11 時
- エ 観覧者 延べ 7,044 人 (26 年度累計)

(4) 一般投影 (星空模様)

- ア 内容 解説員による季節の星空解説 (所要約 40 分)  
4 月 12 日 (土) ~ 7 月 13 日 (日)  
9 月 6 日 (土) ~ 平成 27 年 3 月 15 日 (日)
- イ 観覧者 延べ 3,602 人

(5) 全天周映画

- ア 内容 大型映像の全天周映画作品を上映
- イ 番組 「ドラえもん 宇宙ふしぎ大探検 2」 ~ 太陽系のひみつ ~  
4 月 1 日 (火) ~ 4 月 6 日 (金)  
「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」 ~ 帰還バージョン DC 版  
4 月 1 日 (火) ~ 7 月 18 日 (金)  
「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」 2009 年バージョン  
6 月 7 日 (土) ~ 6 月 15 日 (日)  
「HAYABUSA 2 RETURN TO THE UNIVERSE」  
7 月 19 日 (土) ~ 3 月 31 日 (火)  
「名探偵コナン ~ 星影の魔術師 ~」, 「はやぶさ 2」宇宙へ出発!  
7 月 19 日 (土) ~ 8 月 31 日 (日)  
「ポケットモンスター XY 宇宙の破片」, 「はやぶさ 2」宇宙へ出発!  
12 月 20 日 (土) ~ 平成 27 年 1 月 12 日 (月)  
3 月 21 日 (土) ~ 3 月 31 日 (火)
- ウ 観覧者 延べ 18,588 人

(6) 投影等開始時間

- 平日 (火 ~ 金 (特別上映期間を除く))  
午後 2 時 40 分  
午後 3 時 50 分
- 土・日・祝日及び特別上映期間  
午前 11 時 00 分  
午後 1 時 30 分  
午後 2 時 40 分  
午後 3 時 50 分

(7) 学習投影

- ア 内容 小中学校、幼稚園・保育園の団体観覧用の番組
- イ 番組 小中学校向け 「今晚の星空」  
「空を見上げると (夏 / 冬)」  
「太陽と惑星」  
幼児向け 「今晚の星空」

「うちゅうの七にんきょうだい」  
「ピーターパンのぼうけん」  
「ぼくらのうちゅうりょこう～ダーツでめぐる銀河の旅～」  
「おしえて！さがぼん お月さまってなゐに？」  
「おしえて！さがぼん 宇宙のおしごと」  
「おしえて！さがぼん お日さまって何いろ？」  
「おしえて！さがぼん 星空あそび」  
「ワクワクさがぼん！惑星めぐり」

ウ 投影時間 事前に利用団体と調整し、平日の午前 1 回、午後 1 回投影  
エ 観覧者 延べ 11, 232 人

## (8) 広 報

プラネタリウム・全天周映画番組ごとに案内ポスター・チラシを作成し小中学校等に発送

## 5 その他

### (1) 情報サービスコーナー

ビデオ作品年間視聴回数	計	48 回
DVDライブラリー作品年間視聴回数	計	205 回

## 6 学校と博物館の連携を進める研究会

### (1) 趣 旨

学校教育の場で児童・生徒の多様な学習要求に応じた幅広い学習活動充実のために、博物館の効率的かつ積極的な利用を図り、博物館の持っている機能を十分に生かす学校と博物館の連携のあり方を研究・協議する機関。

### (2) 委員構成 任期 2 年（平成 24 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

氏 名	備 考	
根 岸 幸 雄	由野台中学校総括教諭	委員長
近 藤 信 一	共和小学校総括教諭	副委員長
立 石 忠 幸	新磯小学校教諭	
堀 江 美紀子	中野小学校教諭	
長 かおる	中央小学校教諭	
米 谷 幸 久	青葉小学校教諭	
吉 田 次 朗	弥栄中学校教諭	
保 坂 啓 介	上溝南中学校教諭	

### 任期 2 年（平成 26 年 7 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日）

氏 名	備 考	
内 村 昭 広	鳥屋中学校総括教諭	委員長
宮 坂 賢 一	藤野中学校総括教諭	副委員長
遠 山 正 良	大島小学校教諭	
今 井 千鶴子	桂北小学校教諭	
本 多 絵 美	鳥屋小学校教諭	
大 田 啓 嗣	大野台中央小学校教諭	
小 池 文 夫	共和中学校教諭	

### (3) 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月29日(金)	委嘱書交付、委員長・副委員長の選出 博物館の概要、学校と博物館の連携について 等
2	10月28日(金)	担当分野（考古・歴史・民俗・地質・生物・天文）の決定 担当分野ごとの顔合わせ
3	2月20日(金)	平成 27 年度学習資料展に向けて、担当分野ごとにテーマや内容について話し合い

## 7 広告・出版等

### (1) 印刷物・刊行物

- ア 企画展・学習資料展のポスター・パンフレット等
- イ プラネタリウム・全天周映画のポスター・チラシ等
- ウ 報告書等

### (2) 有償刊行物一覧(平成26年3月31日現在)

博物館と市役所行政資料コーナーで販売 売上総計 ￥709,010 円

博物館 図録・報告書等売上

合計 55冊 ￥30,790 円

#### ア 特別展・企画展図録等

書名	販売価格	発行年月	売上冊数
郷土の巨匠・岩橋英遠展	¥1,000	H 7 . 11	完売
江南の至宝	¥1,300	H 8 . 2	完売
相模原の昆虫 - 身近にいる小さな仲間たち -	¥350	H 8 . 4	完売
日本の宇宙開発	¥1,000	H 8 . 11	完売
絵図から地形図へ - 近代地形図の誕生と発展 -	¥2,550	H 9 . 7	完売
太陽系 - 母なる太陽とその家族を巡る -	¥700	H 9 . 11	完売
浮世絵名品展	¥1,800	H 10 . 9	完売
水生昆虫の世界 - 水の中の小さな虫たち -	¥1,200	H 11 . 7	完売
描かれた農耕の世界	¥1,500	H 11 . 10	完売
花を描き、花を知る - 植物画の魅力 -	¥1,200	H 12 . 7	完売
幕末・維新の相模原 - 村の殿様 旗本藤澤次謙と村人たち -	¥1,500	H 12 . 10	完売
星の測量 - 角度をはかり、位置をもとめる -	¥700	H 13 . 7	10
”道”再発見 - 道の役割とその移りかわり -	¥1,500	H 13 . 10	完売
昆虫のふしぎ	¥500	H 14 . 7	4
水晶ってすばらしい! - その美と実用の魅力 -	¥1,000	H 15 . 7	0
晃嶺の百花譜	¥1,500	H 16 . 7	1
相模原 - その開発と変貌 -	¥800	H 16 . 10	4
地球 46 億年	¥900	H 17 . 7	0
相模川・桂川流域の縄文時代	¥950	H 18 . 10	完売

#### イ 報告書等

研究報告第7集 1999	¥850	H 10 . 3	完売
研究報告第8集 2000	¥850	H 11 . 3	完売
研究報告第9集 2001	¥900	H 12 . 3	完売
研究報告第10集 2002	¥900	H 13 . 3	完売
研究報告第11集 2002	¥850	H 14 . 3	完売
研究報告第12集 2003	¥900	H 15 . 3	1
研究報告第13集 2004	¥900	H 16 . 3	1
研究報告第14集 2005	¥900	H 17 . 3	0
研究報告第15集 2006	¥1,050	H 18 . 3	0
研究報告第16集 2007	¥1,150	H 19 . 3	0
研究報告第17集 2008	¥1,150	H 20 . 3	2
研究報告第18集 2009	¥700	H 21 . 3	1
研究報告第19集 2010	配布のみ	H 22 . 3	-
研究報告第20集 2012	配布のみ	H 24 . 3	-
研究報告第21集 2013	配布のみ	H 25 . 3	-
研究報告第22集 2014	配布のみ	H 26 . 3	-
相模原市民俗調査報告書 大島地区の自然と文化	¥900	H 10 . 3	完売
地図資料目録 一般図・主大図・地形図	¥1,200	H 12 . 3	完売
桐生亮コレクション標本目録	¥1,150	H 13 . 3	完売

平成 26 年度相模原市立博物館年報

相模原市民俗調査報告書 大島・上矢部・田名・上溝・当麻地区の民俗	¥600	H 14 . 3	2
資料目録 4 テフラ標本目録	¥850	H 15 . 3	0
資料目録 5 相模原植物誌	¥600	H 15 . 3	0
古淵 B 遺跡旧石器時代資料再整理調査報告書	¥850	H 17 . 3	1
博物館所蔵古文書目録	¥900	H 17 . 3	3
境川流域民俗調査報告書	¥500	H 17 . 3	完売
博物館資料調査報告書 相模川の水生昆虫	¥1,700	H 20 . 3	2
さがみはら自然ガイド カエル見つけた!!	¥180	H 21 . 5	23

ウ 展示解説書

常設展示解説書	¥1,000	H 8 . 11	完売
---------	--------	----------	----

合 計	30,790
-----	--------

市史・町史

博物館と市役所行政資料コーナー及び市書店協同組合加盟店で委託販売

市史・町史合計 327冊 ¥678,220 円

ア 相模原市史

相模原市史 第 1 巻 (中世以前通史)	¥2,300	S 39 . 11	4
相模原市史 第 2 巻 (近世通史)	¥3,400	S 42 . 3	1
相模原市史 第 3 巻 (近代通史)	¥2,800	S 44 . 2	1
相模原市史 第 4 巻 (現代通史)	¥3,200	S 46 . 3	1
相模原市史 第 5 巻 (中世・近世資料集)	¥4,500	S 40 . 11	1
相模原市史 第 6 巻 (近代資料集)	¥3,200	S 43 . 2	1
相模原市史 第 7 巻 (別編)	¥1,900	S 47 . 3	1
相模原市史 現代図録編	¥1,500	H 16 . 11	13
相模原市史 現代資料編	¥3,700	H 20 . 3	5
相模原市史 自然編	¥3,400	H 21 . 5	13
相模原市史 民俗編	¥2,550	H 22 . 3	9
相模原市史 民俗編DVD版	¥1,550	H 22 . 3	3
相模原市史 現代通史編	¥2,100	H 23 . 3	15
相模原市史 考古編	¥2,650	H 24 . 3	31
相模原市史 現代テーマ編	¥2,310	H 26 . 3	85
相模原市史ノート創刊号	¥350	H 16 . 3	5
相模原市史ノート 2 号	¥700	H 17 . 3	2
相模原市史ノート 3 号	¥600	H 18 . 3	2
相模原市史ノート 4 号	¥600	H 19 . 3	2
相模原市史ノート 5 号	¥600	H 20 . 3	1
相模原市史ノート 6 号	¥700	H 21 . 3	3
相模原市史ノート 7 号	¥700	H 22 . 3	3
相模原市史ノート 8 号	¥650	H 23 . 3	3
相模原市史ノート 9 号	¥700	H 24 . 3	3
相模原市史ノート 10 号	¥700	H 25 . 3	11
相模原市史ノート 11 号	¥700	H 26 . 3	15
相模原市史調査報告書 1 旧石器時代遺跡資料調査報告書	¥1,400	H 19 . 3	1
相模原市史調査報告書 2 動植物調査目録	¥2,400	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 3 相模原周辺の関東ローム層中の植物珪酸体からみた過去8万年間の気候植生変化	¥1,500	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 4 相模原市地域の第 4 紀地史研究のための指標テフラ(火山灰)	¥2,300	H 21 . 3	1
相模原市史調査報告書 5 縄文時代遺跡資料調査報告書	¥1,000	H 21 . 3	3
相模原市史調査報告書 6 勝坂有鹿谷祭祀遺跡資料報告書	¥1,350	H 22 . 3	6
相模原市史調査報告書 7 当麻山無量光寺歴代人墓所石造塔婆群調査報告書	¥1,200	H 23 . 3	4
合 計			251

平成 26 年度相模原市立博物館年報

イ 城山町史

城山町史 1	資料編 考古・古代・中世	¥7,000	H 4 . 3	0
城山町史 2	資料編 近世	¥6,000	H 2 . 3	0
城山町史 3	資料編 近現代	¥7,000	H 5 . 3	2
城山町史 4	資料編 民俗	¥5,150	S 63 . 3	1
城山町史 5	通史編 原始・古代・中世	¥3,500	H 7 . 3	1
城山町史 6	通史編 近世	¥3,500	H 9 . 3	1
城山町史 7	通史編 近現代	¥3,500	H 9 . 3	1
城山風土記 1	近現代編	¥600	H 3 . 3	1
城山風土記 2	近世文書を読むために	¥700	H 6 . 3	2
城山風土記 3	九十歳の雑記帳	¥600	H 7 . 3	5
城山風土記 4	歴史・民俗編	¥600	H 8 . 8	4
城山風土記 5	町の歩みをふりかえる	¥600	H 9 . 3	1
城山町史資料所在目録	近世文書	¥3,600	S 60 . 3	0
城山町史資料所在目録	近現代文書・近世文書補遺	¥2,900	S 61 . 12	0
城山町史新聞記事目録		¥1,200	S 62 . 3	0
町史の窓 (復刻版)		¥1,100	H 18 . 3	5
合 計				24

ウ 津久井町史

津久井町史	資料編 近世 1	¥2,000	H 16 . 3	0
津久井町史	資料編 考古・古代・中世	¥2,900	H 19 . 3	3
津久井町史	資料編 近代・現代	¥3,150	H 21 . 2	1
津久井町史	資料編 近世 2	¥3,550	H 23 . 3	0
津久井町史	自然編	¥3,690	H 25 . 3	9
ふるさと津久井	第 1 号	¥1,000	H 12 . 3	完売
ふるさと津久井	第 2 号 特集 山に生きる	¥1,000	H 13 . 3	完売
ふるさと津久井	第 3 号 (特別号) 津久井の古地	¥1,000	H 14 . 3	完売
ふるさと津久井	第 4 号 特集 養蚕と織物 ( 1 )	¥1,000	H 15 . 9	完売
ふるさと津久井	第 5 号 特集 養蚕と織物 ( 2 )	¥750	H 24 . 3	4
ふるさと津久井	第 6 号	¥820	H 26 . 3	13
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	¥1,700	H 16 . 3	2
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	¥1,500	H 20 . 3	0
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の昆虫」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の植物」	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の植物」 CD版	配布のみ	H 24 . 3	-
津久井町史調査報告書	「津久井町の動物」	¥720	H 25 . 2	3
津久井町史調査報告書	「津久井町の気象」	¥1,840	H 25 . 2	1
津久井町史資料目録	公文書 1	¥2,300	H 22 . 3	0
津久井町史資料目録	公文書 2	¥1,700	H 24 . 3	2
津久井町史資料叢書	事務報告 1	¥1,850	H 22 . 3	1
津久井町史資料叢書	事務報告 2	¥1,850	H 22 . 3	2
合 計				41

エ 相模湖町史

相模湖町史	歴史編	¥14,000	H 13 . 3	1
相模湖町史	民俗編	¥5,600	H 19 . 2	0
相模湖町史	自然編	¥11,550	H 20 . 2	2
合 計				3

オ 藤野町史

藤野町史	資料編上	¥3,000	H 6 . 3	1
藤野町史	資料編下	¥3,000	H 6 . 3	2
藤野町史	通史編	¥4,000	H 7 . 3	2
ふじの町史	研究誌 (第 1 号)	¥600	H 2 . 3	0
ふじの町史	研究誌 (第 2 号)		H .	完売
ふじの町史	研究誌 (第 3 号)	¥600	H 5 . 3	2
ふじの町史	研究誌 (第 4 号)		H 6 . 2	完売
ふじの町史	研究誌 (第 5 号)	¥600	H 8 . 3	1
合 計				8

(3) 他の機関等との関連

ア ポスター掲示

前述の各ポスターを、市各機関・近隣博物館等へ送付し、掲示を依頼した。

イ 記事提供

広報さがみはら、相模原記者クラブ、新聞・雑誌・タウン誌等のメディアなどへ記事・パンフレットなどの情報を提供した。

ウ 放送番組ロケ

NHK、J-COM、FMさがみ、FMヨコハマ、BS朝日など博物館や博物館の事業を紹介するテレビ・ラジオ番組の取材に対応した。

8 博物館学芸員実習

学芸員資格取得のための実習として、8月5日～9月10日の内実質8日間に15人を受け入れた。分野別受入大学は以下のとおり。

分野	学校名	人数	分野	学校名	人数
考古	東海大学	1	生物	首都大学東京	1
	青山学院大学	1		帝京科学大学	1
歴史	国士舘大学	1		東京家政大学	1
	東京造形大学	2	地質	帝京科学大学	1
民俗	桜美林大学	1		北里大学	1
	日本大学	1	天文	桜美林大学	1
	神奈川大学	1		首都大学東京	1

9 学習利用

学校及びそれに類する団体の利用（プラネタリウム学習投影、展示学習職場体験）について、依頼に基づき博物館職員が対応した。

月	件数	人数	月	件数	人数	月	件数	人数	
4月	0	0	8月	0	0	12月	17	1,188	
5月	9	403	9月	14	1,012	1月	33	1,659	
6月	26	1,541	10月	22	1,239	2月	40	2,175	
7月	12	403	11月	48	3,409	3月	17	1,151	
							年計	238	14,180

## 10 博物館職員の講師依頼等

市内各公民館・小中学校等で実施される講座・研修等について、依頼に基づき博物館職員を講師として派遣した。(これに類するものも記載) 総計 69件

内訳 生物22件 歴史26件 地質4件 民俗2件 天文12件 考古3件

	演 題 等	依頼者	分野	月 日	場 所	担 当
1	花ごよみ調査実施セミナー	環境情報センター	生物	4月15日(土)	環境情報センター	秋山幸也
2	野生動物学セミナー	麻布大学	生物	4月15日(土)	麻布大学	秋山幸也
3	出前授業「大昔の暮らし」	広田小学校	考古	4月22日(火)	広田小学校	正洋樹
4	自然環境監察委員環境セミナー活動報告会	環境情報センター	生物	5月10日(土)	環境情報センター	秋山幸也
5	出前授業「カイコのはなし」	大野台中央小学校	生物	5月16日(金)	大野台中央小学校	秋山幸也
6	特別展関連講演会「カイコってすごい!」	美濃加茂市	生物	5月25日(日)	岐阜県美濃加茂市民ミュージアム	秋山幸也
7	出前授業「カイコのはなし」	青葉小学校	生物	5月29日(木)	青葉小学校	秋山幸也
8	出前授業「カイコのはなし」	共和小学校	生物	6月5日(木)	共和小学校	秋山幸也
9	由野台中ふれあいゼミナール「校庭の葉っぱを使って展示を制作しよう」	由野台中学校	生物	6月7日(土)	由野台中学校	秋山幸也
10	津久井歴史ウォーキング	津久井中央公民館	歴史	6月8日(日)	津久井中央公民館	井上泰
11	「ふれあい学級」	大野南公民館	歴史	6月12日(木)	大野南公民館	井上泰
12	「七夕お楽しみ会」	大野南公民館	天文	6月28日(土)	大野南公民館	杉本芳秋 有田和人
13	出前授業「昔の暮らし」	大沢小学校	歴史	7月3日(木)	大沢小学校	渡邊直展
14	教養講座「相模原の近・現代」	光が丘公民館	歴史	7月12日(土)	光が丘公民館	土井永好
15	講演会「津久井の身近な昆虫」	橋本図書館	歴史	7月12日(土)	橋本図書館	守屋博文

平成 26 年度相模原市立博物館年報

16	「インタープリンター養成講座」	横浜市環境創造局	生物	7月13日(日)	横浜市栄区上郷森の家	秋山幸也
17	「田名向原遺跡ハテナ館昆虫観察ツアー」	文化財保護課	生物	7月21日(月)	田名向原遺跡	守屋博文
18	中野小学校職員研修会	中野小学校	歴史	7月24日(木)	中野小学校	井上泰
19	「昆虫観察ツアー」	ふれあい科学館	生物	8月1日(金) 8月8日(金)	ふれあい科学館	守屋博文
20	講演会「よりどりみどり、相模原の鳥のはなし」	県立相模原公園	生物	8月2日(土)	県立相模原公園	秋山幸也
21	青根小中学校職員研修会	青根中学校	歴史	8月27日(水)	青根小学校	井上泰
22	麻溝ガイド研修会	麻溝観光協会	地質	9月3日(水)	麻溝公民館	河尻清和
23	出前授業「昔の暮らし」	富士見小学校	歴史	9月5日(金)	富士見小学校	渡邊直展
24	高齢者学級「上鶴間地域の遺跡」	上鶴間公民館	考古	9月11日(木)	上鶴間公民館	正洋樹
25	出前授業「昔の暮らし」	内郷小学校	歴史	9月11日(木)	内郷小学校	渡邊直展
26	「出張観望会」	桂北公民館	天文	9月13日(土)	桂北公民館	山田陽志郎
27	現地解説「柳原白蓮と顕鏡寺について」	藤野観光協会	歴史	9月18日(木)	顕鏡寺	土井永好
28	出前授業「昔の暮らし」	もえぎ台小学校	歴史	9月25日(木)	もえぎ台小学校	渡邊直展
29	「出張観望会」	横山公民館	天文	9月27日(土)	横山公民館	杉本芳秋
30	神奈川県博物館協会研修会	神奈川県博物館協会	生物	9月28日(月)	横浜情報文化センター	秋山幸也
31	高齢者学級「近代以降の橋本の歴史」	橋本公民館	歴史	10月8日(水)	橋本公民館	土井永好
32	高齢者学級「田名の交通の歴史」	田名公民館	歴史	10月10日(金)	田名公民館	土井永好
33	出前授業「学芸員という仕事」	若草中学校	考古	10月17日(金)	若草中学校	正洋樹
34	出前授業「昔の暮らし」	夢の丘小学校	歴史	10月20日(月)	夢の丘小学校	渡邊直展

平成 26 年度相模原市立博物館年報

35	野外体験「カワラノギクの保全と生活史」	鵜野森中学校	生物	10月28日(火)	相模川自然の村	秋山幸也
36	高校生物科教員研修「自然観察指導法」	神奈川県高等学校教科研究会	生物	10月29日(水)	勝坂遺跡公園	秋山幸也
37	おおのなか女性学級 2014「地域の自然を学ぼう 境川の生きもの」	大野中公民館	生物	10月31日(金)	大野中公民館	秋山幸也
38	出前授業「昔の暮らし」	並木小学校	歴史	11月4日(火)	並木小学校	渡邊直展
39	相模湖地区生きがい大学教養講座「相模湖地域の祭り」	相模湖保健福祉課	民俗	11月19日(水)	相模湖リフレッシュセンター	加藤隆志
40	「出張観望会」	陽光台公民館	天文	11月28日(金)	陽光台公民館	杉本芳秋
41	「出張観望会」	東林公民館	天文	11月29日(土)	東林公民館	杉本芳秋
42	「出張観望会」	鹿島台小学校	天文	12月2日(火)	鹿島台小学校	杉本芳秋 渡邊直展
43	「出張観望会」	もえぎ台小学校	天文	12月3日(水)	もえぎ台小学校	杉本芳秋 渡邊直展
44	相模原市自然環境観察員制度「平成26年度全体調査検討会」	環境情報センター	生物	12月4日(木)	環境情報センター	秋山幸也
45	出前授業「大地のつくり」	藤野南小学校	地質	12月5日(金)	緑区名倉	河尻清和
46	「相模原市史編さんの成果から」	県立公文書館	歴史	12月7日(日)	相模原市博物館	井上泰
47	出前授業「石臼体験」	並木小学校	歴史	12月9日(火)	並木小学校	渡邊直展
48	「出張観望会」	星が丘公民館	天文	12月13日(土)	星が丘公民館	杉本芳秋
49	シンポジウム「写真映像とフィールドワークをめぐって」	東京造形大学	歴史	12月18日(木)	東京造形大学	守屋博文
50	「出張観望会」	藤野中央公民館	天文	12月23日(火)	藤野中央公民館	杉本芳秋
51	出前授業「生涯学習概論」	女子美術大学	地質	1月9日(金)	女子美術大学	河尻清和
52	「出張観望会」	上鶴間公民館	天文	1月17日(土)	上鶴間公民館	杉本芳秋 有田和人
53	出前授業「昔の暮らし」	清新小学校	歴史	1月20日(火)	清新小学校	渡邊直展
54	出前授業「昔の暮らし」	鶴の台小学校	歴史	1月22日(木)	鶴の台小学校	渡邊直展

平成 26 年度相模原市立博物館年報

55	「出張観望会」	城山公民館	天文	1月24日(土)	城山公民館	杉本芳秋
56	出前授業「昔の暮らし」	川尻小学校	歴史	1月27日(火)	川尻小学校	渡邊直展
57	出前授業「地域の自然を学ぶ 境川や木もれびの森の生きもの」	淵野辺東小学校	生物	1月30日(金)	淵野辺東小学校	秋山幸也
58	「出張観望会」	横山公民館	天文	1月31日(土)	横山公民館	杉本芳秋
59	丹沢環境学習ネットワークスキルアップ研修会「地域の鳥の記録を読み解く」	神奈川県公園協会	生物	1月31日(土)	相模原県立公園	秋山幸也
60	出前授業「昔の暮らし」	相武台小学校	歴史	2月6日(金)	相武台小学校	渡邊直展
61	勝坂遺跡野鳥観察会	文化財保護課	生物	2月8日(日)	勝坂遺跡公園	秋山幸也
62	出前授業「昔の暮らし」	共和小学校	歴史	2月9日(月)	共和小学校	渡邊直展
63	寒川町目久尻川周辺野鳥観察会	寒川町環境課	生物	2月11日(水)	寒川町目久尻川	秋山幸也
64	酒匂川外来種問題シンポジウム「飛んできたのか？放されたのか？意外と難しい野鳥の外来種問題」	酒匂川水系の環境を考える会	生物	2月15日(日)	神奈川県立生命の星・地球博物館	秋山幸也
65	所沢市民学芸員講座「地域博物館に学ぶ」	所沢市生涯学習推進センター	民俗	2月21日(土)	所沢市生涯学習推進センター	加藤隆志
66	出前授業「昔の暮らし」	広田小学校	歴史	2月25日(水)	広田小学校	渡邊直展
67	城山エコミュージアムのつどい	城山エコミュージアム	地質	2月28日(土)	城山公民館	河尻清和
68	グリーンカレッジつくい「青根 神様 仏様」	津久井生涯学習センター	歴史	3月15日(日)	青根周辺	井上泰
69	学習発表会	並木小学校	歴史	3月23日(月)	並木小学校	渡邊直展

## 1 1 市民との協働

### (1) 市民学芸員

ア 内容 学習資料展の企画・準備と関連事業運営、クイズラリー企画・運営、星空観望会補助等を実施した。また、有志による、常設展示「自然・歴史展示室」の展示替えに向けての検討会を開始した。

イ 登録者 33人

ウ 参加者 延べ 893人(活動回数:89回)

### (2) さがみはら水生動物調査会

ア 内容 相模原市内での水生動物の調査や講師派遣への協力を行った。

イ 登録者 66人

ウ 参加者 延べ 272人

### (3) 相模原植物調査会

ア 内容 市域の植物相調査を行うとともに、標本作製、整理を行った。また、月1回程度の例会を行い、標本を使った植物分類の勉強会を行った。

イ 登録者 57人

ウ 参加者 延べ 280人

### (4) 相模原地質研究会

ア 内容 市内および周辺地域の地質調査や資料整理を行った。地質学講座や子ども鉱物教室など地質分野の教育普及活動を学芸員とともに行った。

イ 登録者 12人

ウ 参加者 延べ 128人

### (5) 相模原縄文研究会

ア 内容 市内の縄文時代遺跡の調査と資料整理を行った。また、学びの収穫祭で活動紹介を博物館と協働で行った。

イ 登録者 13人

ウ 参加者 延べ 160人

### (6) 民俗調査会A(19年度結成)

ア 内容 市内外のフィールドワークを行いながら、上溝~下溝地区及び淵野辺地区の「民俗探訪会」を実施した。また、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会を通じて、横浜市歴史博物館の企画展に資料提供や関連事業実施の協力を行った。

イ 登録者 22人(平成27年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 194人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

\*このほかに、横浜市歴史博物館「民俗に親しむ会」との交流会として、4月19日・茅ヶ崎市の庚申塔見学(相模原側参加者17名・横浜側参加者8名)を実施した。

### (7) 民俗調査会B(19年度結成)

ア 内容 「町田観光ガイドブック」を元に、市域から町田市にかけてのフィールドワークを行った。

イ 登録者 28人(平成27年3月末現在)

ウ 参加者 延べ 196人(毎月一回実施しているフィールドワーク他の参加人数)

( 8 ) 水曜会 ( 2 2 年度結成 )

- ア 内 容 津久井郷土資料館 ( 当時 ) に保管されていた鈴木重光氏が寄贈した資料のうち、未整理のものについての目録化などの作業を継続的に行っている。
- イ 登録者 17 名 ( 平成 27 年 3 月末現在 )
- ウ 参加者 延べ 359 人 ( 毎月 2 ~ 3 回程度実施している作業等に参加した人数 )

( 9 ) 相模原市立博物館天文クラブ ( 23 年 1 2 月 2 4 日発足 )

- ア 内 容 相模原市立博物館と協働して、身近に起きる天文現象の記録化と資料化を図り、資料の保存事業や展示等の教育普及事業に協力する活動を行った。
- イ 登録者 20 人 ( 平成 27 年 3 月末現在 )
- ウ 参加者 延べ 57 人 ( 天体写真撮影、作品展示ほか )

( 1 0 ) 福の会 ( 2 4 年度結成 )

- ア 内 容 博物館で収集した民俗資料の整理作業を行うことを目的に結成し、下溝地区・福田家の蔵に収納されていた資料やそのほかの資料の整理を行った。また、「蔵の中の世界 ~ 市民の力で博物館資料へ ~ 」を行うとともに、麻溝公民館の「麻溝地区文化展」においても地元の資料を展示した。
- イ 登録者 14 名 ( 平成 27 年 3 月末現在 )
- ウ 参加者 延べ 277 人 ( 毎月 2 回程度実施している作業及び展示作業等に参加した人数 )

( 1 1 ) N P O 法人ふじの里山くらぶ

- ア 内 容 相模原市協働事業提案制度により採択された「吉野宿ふじや活性化事業」の実施団体として、吉野宿ふじやを拠点に地域の特性を活かし情報発信活発化のための各種事業を博物館と協働で実施した ( 2 年目 )
- 夏休み企画「蚕の飼育」  
企画展「甲州道中と俳句展」  
歴史散策「第 2 回緑区藤野地域の甲州道中に行く」  
企画展「第 2 回藤野の懐かしい写真展」  
語り合うつどい「水没した勝瀬集落について」  
季節展示「藤野のおひなさま」  
常設展示の様様替え作業
- イ 実施日 7 月 2 6 日 ( 土 ) ~ 8 月 2 5 日 ( 月 )  
8 月 3 日 ( 日 ) ~ 1 0 月 5 日 ( 日 )  
1 1 月 2 9 日 ( 土 )  
1 2 月 9 日 ( 火 ) ~ 2 月 8 日 ( 日 )  
1 月 1 7 日 ( 土 )  
2 月 2 2 日 ( 日 ) ~ 3 月 1 5 日 ( 日 )  
通年
- ウ 参加者 152 名  
594 名  
29 名 ( 募集定員制 )  
491 名  
85 名 ( 会場定員制 )  
351 名

( 1 2 ) 神奈川工科大学 情報学部 情報メディア学科 白井研究室

- ア 内 容 「みんなでつくる相模原『知的探求散策アルバム』」という事業名で、市民が自ら市内の自然・歴史・文化等に関する情報を収集し、発信する方法を博物館と協働で探った。実施内容：博物館エントランスへのデジタルサイネージの刷新、尾崎弔堂記念館へのサイネージ設置、ワークショップの開催等。

**( 1 3 ) 尾崎行雄を全国に発信する会**

ア 内 容 相模原市協働事業提案制度により採択された「尾崎行雄の業績と号堂桜を広める事業」(尾崎号堂記念館活性化事業)の実施団体として、尾崎号堂記念館を拠点に「郷土出身の偉人」のさらなる情報発信を充実させる各種事業を博物館と協働で実施した(1年目)

尾崎号堂没後 60 年展の企画・開催

尾崎号堂没後 60 年展記念講演会の企画・開催

尾崎号堂ゆかりの地マップ作成(3万部)

尾崎号堂記念館常設展示模様替えの検討作業

「里帰り桜」植栽事業の準備作業

イ 実施日 9月13日(土)~10月13日(月・祝)

9月28日(日)

通年

通年

通年

ウ 参加者 4,075名

102名

**( 1 4 ) さがみはら動物標本クラブ**

ア 内 容 平成26年度から活動を始めたボランティアグループ。博物館で保管しているものを中心に鳥獣の冷凍資料を標本化し、あわせて解剖や外部計測などの専門的な技術を習得した。

イ 登録者 13人

ウ 参加者 延べ 70人

## 資料管理

### 1 博物館収蔵資料点数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

#### 博物館収蔵資料点数リスト

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	考古資料収蔵庫等	6,293	箱	6,293
歴史	歴史資料	古文書収蔵庫	5,980	点	43,549
	歴史資料	生活資料収蔵庫	1,305	点	
	歴史資料	特別収蔵庫	11,095	点	
	古文書等市史資料 (旧役場文書は除く)	古文書収蔵庫	3,315	点	
	古文書等市史資料	特別収蔵庫	21,742	点	
	購入資料	特別収蔵庫	112	点	
民俗・地理	民俗・生活資料	生活資料収蔵庫・ 大型資料収蔵庫	21,750	点	29,226
	軍事資料		1,565	点	
	地図・写真資料	図面保管庫	5,911	点	
地質	化石資料	地質資料収蔵庫等	189	点	3,761
	岩石・薄片資料	地質資料収蔵庫等	1,312	点	
	テフラ資料	地質資料収蔵庫等	1,371	点	
	ボーリング資料	地質資料収蔵庫	323	点	
	砂礫・泥流堆積物資料等	地質資料収蔵庫等	564	点	
	文献	地質資料収蔵庫等	2	点	
	参考資料	地質資料収蔵庫	0	点	
動物	魚類	液浸標本収蔵庫	40	点	38,341
	昆虫類	動植物資料収蔵庫	37,567	点	
	小動物等	液浸標本収蔵庫	594	点	
	鳥類	動植物資料収蔵庫	126	点	
	哺乳類	動植物資料収蔵庫	14	点	
植物	乾燥標本等	動植物資料収蔵庫	50,856	点	50,862
	植物画資料	動植物資料収蔵庫	6	点	
天文	スライド等	フィルム収蔵庫	2,108	点	2,121
	購入資料	天文展示室	13	点	
二次資料	図書	市民研究室等	40,994	点	45,235
	ビデオ・CD-ROM, DVDソフト	情報サービスコーナー	428	点	
	歴史関係図書類	古文書収蔵庫	3,813	点	
合計			219,388	点	

#### 館内収蔵美術品資料点数リスト

#### 館内収蔵美術品（文化振興課扱）

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
美術品	絵画	美術品収蔵庫	394	点	2,293
	書	美術品収蔵庫	55	点	
	彫刻	美術品収蔵庫	2	点	
	写真	フィルム収蔵庫	1,842	点	

平成 26 年度相模原市立博物館年報

館内収蔵市史資料

分野	分類	収蔵庫名	収蔵点数	単位	分野計
市史資料	行政資料(旧役場文書)	古文書収蔵庫	600	点	600

博物館関連施設収蔵資料点数リスト

分野	分類	施設名	収蔵点数	単位	分野計
考古	考古資料	藤野第2資料保管庫	219	箱	1,177
		津久井郷土資料室	354	箱	
		城山郷土資料保管庫	444	箱	
		吉野宿ふじや	160	箱	
歴史	歴史資料	津久井郷土資料室	688	点	5,522
		尾崎弔堂記念館	3,816	点	
		小原本陣・小原の郷	254	点	
		城山郷土資料保管庫	95	箱	
民俗・地理	民俗・生活資料	吉野宿ふじや	669	点	17,221
		津久井郷土資料室	14,503	点	
		小原本陣・小原の郷	401	点	
		城山郷土資料保管庫	847	点	
動物	昆虫類	吉野宿ふじや	115	点	115
合計			24,035	点	

施設別一覧

施設	分野	分類	収蔵点数	単位	施設別
藤野第2資料保管庫	考古他	考古資料他	219	箱	219
津久井郷土資料室	考古	考古資料	354	箱	15,545
	歴史	歴史資料	688	点	
	民俗・地理	民俗生活資料	14,503	点	
尾崎弔堂記念館	歴史	歴史資料	3,816	点	3,816
小原本陣・小原の郷	歴史	歴史資料	254	点	655
	民俗・地理	民俗生活資料	401	点	
城山郷土資料保管庫	考古	考古資料	444	箱	1,386
	歴史	歴史資料	95	箱	
	民俗・地理	民俗生活資料	847	点	
吉野宿ふじや	考古	考古資料	160	箱	2,414
	歴史	歴史資料	669	点	
	民俗・地理	民俗生活資料	1,470	点	
	動物	昆虫類	115	点	
合計			24,035	点	

## 2 資料・収集整理

分野	内 容
考古	埋蔵文化財再整理（国庫補助事業）
歴史	寄贈・寄託歴史資料の分類整理、市域生活資料の収集整理、尾崎行雄(号堂)関係資料の分類整理
民俗	市域の民俗資料の収集及び収蔵番号の整備などの諸整理
動物	動物資料の収集及び標本の作製・整理、適正な保管を目的とした点検作業
植物	植物資料の収集及び標本の作製・整理適正な保管を目的とした点検作業
地質	地質資料の収集及び標本の作製・整理、収蔵資料の整理
天文	天文現象・太陽画像の撮影 インターネットによる公開天文台ネットワーク等からの画像収集
情報	他博物館等から送付された刊行物の整理

## 3 購入資料

区 分	内 容
学術専門雑誌	考古学ジャーナル、月刊むし、天文月報等の専門雑誌 15 種 (市民研究室、天文研究室で開架)

## 4 有害生物管理の実施

### (1) 受入れ資料のくん蒸

洗浄乾燥室において年 2 回、受入れ資料を対象に殺菌、殺虫、殺卵のため、ガス薬剤（エキヒューム）を用いた定期的なくん蒸を実施した。このうち 1 回は、洗浄乾燥室全体の密閉くん蒸を行い、1 回は資料のみを被覆法によりくん蒸した。

### (2) 有害生物調査

6 月～10 月、収蔵庫および作業室を対象に、各種トラップを用いて有害生物の侵入状況を調査した。

## 5 資料の特別利用

利用総件数 63 件（平成 26 年度中に利用申請されたもの）

資 料	区 分	利用期間	申 請 者	目 的
地形図（原町田）	閲覧	4 月 17 日	個人	調査研究
迅速図（上溝村他）	閲覧	4 月 17 日	個人	調査研究
手引き霊柩車	撮影・閲覧	4 月 26 日	個人	調査研究
テフラ試料	館外貸出	5 月 23 日～6 月 27 日	個人	調査研究
上九沢村笹野（八）家文 書他	閲覧・複写	5 月 16 日	個人	講座資料
航空写真	閲覧	5 月 22 日	(株)アーネストワン	地歴調査
勝坂遺跡土器類	閲覧	5 月 31 日	市・文化財保護課	講演会資料 作成
勝坂遺跡 45 次連弧文土器	閲覧	5 月 28 日	個人	論文作成資 料
プラネタリウム館内撮影 データ	データ利用	5 月 28 日	(株)プロダクション アイムス	作画参考資 料
鈴木重光氏関係資料	閲覧	6 月 4 日	神奈川県立歴史博 物館	調査研究
陸軍通信学校図面	複写	6 月 6 日	個人	講座資料
常設展示図録（クルリボ ウの展示）他	館外貸出	6 月 10 日～6 月 30 日	丸善出版(株)	出版物掲載
アレチアザミ押し葉標本 他	撮影	6 月 18 日	個人	調査研究
下中丸遺跡出土石器他	閲覧	6 月 18 日	個人	調査研究
ゲンジボタル標本他	館外貸出	6 月 20 日～11 月 30 日	多摩市文化振興財 団	資料展示
谷原 2 号墳出土装身具類	館外貸出	6 月 27 日～7 月 4 日	市文化財保護課	講座資料

平成 26 年度相模原市立博物館年報

鈴木重光氏関係資料	館外貸出	7月3日～10月3日	神奈川県立歴史博物館	資料展示
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	7月10日	(株)いき出版	写真集作成資料
勝坂1次遺跡・市報告書	撮影・模写・閲覧	7月12日	個人	調査研究
新戸村石川家文書53戸口1他	閲覧・複写	7月13日	個人	調査研究
田名塩田遺跡群B地区第1文化層資料	閲覧	7月15日	個人	調査研究
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	7月17日	(株)いき出版	写真集作成資料
河津妙子氏寄贈資料	閲覧	7月23日	個人	調査研究
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	7月24日	(株)いき出版	写真集作成資料
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	7月31日	(株)いき出版	写真集作成資料
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	8月5日	(株)いき出版	写真集作成資料
絵葉書集	撮影・閲覧	8月6日	横浜雙葉小学校	記念誌作成資料
勝坂遺跡出土連弧文土器	撮影・模写	8月10日	個人	研究資料作成
相模原市史現代図録編	館外貸出	8月13日～9月20日	(株)出版文化社	出版物掲載
勝坂遺跡第1次調査報告書	模写	8月17日	個人	研究資料作成
相模原市史現代図録編	撮影・閲覧	8月20日	(株)いき出版	写真集作成資料
尾崎行雄翁大礼服着用画像	データ利用	9月5日～9月10日	(株)なまためプリント	出版物掲載
橋本遺跡(竪穴住居址と掘立柱建物址)写真データ他	データ利用	10月9日～1月3日	市・橋本図書館	資料展示
あかつき関係写真	複写	10月10日	(株)三オブックス	出版物掲載
双体道祖神	撮影・閲覧	10月18日	田名を知らう会	調査研究

平成 26 年度相模原市立博物館年報

谷原 2 号墳出土装身具類	館外貸出	10 月 24 日～11 月 28 日	市・文化財保護課	講座資料
杉本（清孝氏）家文書	撮影・閲覧	10 月 24 日～12 月 18 日	藤野歴史同好会	調査研究
地形図（藤沢）	複写	10 月 25 日	個人	調査研究
田名坂上遺跡三彩小壺写真	館外貸出	10 月 30 日～11 月 10 日	神奈川県・文化遺産課	出版物掲載
当麻地神講関係資料他	館外貸出	10 月 30 日～11 月 2 日	麻溝地区文化展実行委員会	資料展示
田名塩田原遺跡須恵器仏鉢形土器他	館外貸出	11 月 10 日～2 月 10 日	神奈川県・文化遺産課	資料展示
津久井城家老屋敷石垣写真	データ利用	11 月 10 日～11 月 30 日	戎光祥出版(株)	出版物掲載
享保 3 年相原村絵図面	撮影・閲覧	11 月 22 日	個人	調査研究
航空写真ネガフィルム他	館外貸出	11 月 28 日～3 月 31 日	市・資産税課	行政利用
明治橋本村地引全図他	撮影	11 月 30 日	個人	郷土史図書作成資料
「少年倶楽部（昭和 18 年 5 月号）」掲載広告	データ利用	12 月 1 日～12 月 31 日	明治図書出版(株)	出版物掲載
一遍上人嫡流遊行正統系譜録冒頭系図他	撮影	12 月 1 日～12 月 27 日	個人	出版物掲載
相模原市史現代図録編	館外貸出	12 月 11 日～12 月 26 日	相模経済新聞	記念誌作成資料
谷原 2 号墳出土装身具類	館外貸出	12 月 18 日～12 月 26 日	市・文化財保護課	講座資料
旧大野村役場資料他	撮影・閲覧	12 月 19 日	神奈川県立総合教育センター	県教育史作成資料
昭和 14 年土地区画整理事業計画図	撮影・閲覧	12 月 19 日	橋本の歴史を知る会	出版物掲載
旧相原村役場文書他	複写	1 月 4 日	寒川文書館	資料展示
地形図（原町田）	閲覧・複写	1 月 7 日	個人	調査研究
地形図（原町田）他	閲覧・複写	1 月 8 日	個人	調査研究

田名向原遺跡調査状況写真他	データ利用	1月8日～2月28日	朝日新聞	出版物掲載
鳥類仮剥製	館外貸出	1月14日～2月28日	神奈川県公園協会	資料展示
沖縄県阿嘉島の砂の写真	データ利用	1月16日～3月31日	(株)オリーブグリーン	出版物掲載
大正12年～昭和22年簡易水道契約書・小作料調停覚書他	撮影・閲覧	1月22日	個人	調査研究
ムササビ剥製	館外貸出	1月28日～2月6日	神奈川県公園協会	資料展示
相模原市史現代図録編	館外貸出	1月28日～2月28日	市・文化財保護課	出版物掲載
相模原市史民俗編掲載写真画像データ	データ利用	1月31日	市・橋本図書館	出版物掲載
吉野のお囃子 写真	撮影	2月5日～3月10日	(株)いき出版	写真集作成資料
本然学舎生徒入校証書	撮影・閲覧	3月24日	個人	調査研究

## 調査研究

分野及び調査者	内容と成果
考古資料の調査 正 洋樹	大日野原遺跡の発掘調査を実施し、(中央大学との共同調査)縄文時代中期の集落跡の一部を検出した。
民俗資料の調査 加藤 隆志	祭礼・行事をはじめ、市内外のさまざまな調査内容をホームページ上の「博物館の窓・民俗の窓」において随時掲載した。
歴史資料の調査 土井 永好	市域の近世～近現代資料の整理・分類を進めるとともに、長野県軽井沢町に残る尾崎行雄(号堂)関係資料の補遺調査を実施し、所蔵者承諾のもとその成果を研究報告第23集に掲載した。
植物資料の調査 秋山 幸也	市内の維管束植物などの植物相調査を進め、その中で明らかになった市内に自生する絶滅危惧植物の保全、増殖事業に着手した。
地質資料の調査 河尻 清和	相模原市内、厚木市七沢周辺の地質調査を行った。調査結果の一部は、ホームページの「博物館の窓」、研究報告第23集、日本地質学会第121年学術大会において公表した。
天文資料の調査 山田 陽志郎	国際宇宙ステーションの太陽面通過時を予測し、ビデオ撮影に成功した。「はやぶさ2」の軌道上・及び天球上の現在位置の図示を行った。いずれも、ホームページの「天文の窓」で成果を掲載した。

### 検討委員会等の派遣

八王子市市史編集専門部会委員 加藤隆志  
 神奈川県生物多様性保全検討委員会 秋山幸也  
 神奈川県丹沢再生委員会委員 秋山幸也  
 町田市生物多様性保全計画策定専門委員会委員 秋山幸也  
 清川村史編集委員会委員 守屋博文

## 市史・町史編さん

### 1 相模原市史

#### (1) 市史編さん審議会

ア 趣旨 市史編さんに関する重要な事項について、市長の諮問に応じて調査・審議する附属機関、委員 10 人。事務統合のため平成 22 年度から津久井町史についても取り扱うこととした。

イ 委員構成（任期 2 年）

平成 25 年 7 月 31 日～平成 27 年 7 月 30 日

氏名	備考	選出区分
高城 玲子	公募委員	公募委員
高村 敦子	元相模原市立中央中学校教諭	学識経験者
長澤 敬子	元相模原市立くぬぎ台小学校長	学識経験者
中村 洋子	元大野南公民館長 副会長	学識経験者
奈良 雅之	元相模湖町立北相中学校長	学識経験者
樋口 雄一	元神奈川県公文書館郷土資料課長 会長	学識経験者
藤川 まなみ	桜美林大学准教授	学識経験者
守屋 浩之	津久井湖城山公園自然環境に関する連絡会委員	学識経験者
矢野 英明	帝京大学教職大学院客員教授	学識経験者
山村 比呂志	公募委員	公募委員

#### ウ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月20日(水)	(1) 会長及び副会長の選出について、(2) 平成 25 年度及び 26 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、(3) 平成 26 年度市史・町史編さん事業について、(4) 相模原市史現代テーマ編について、(5) 相模原市史文化遺産編の章立てについて、(6) 津久井町史通史編近世・近代・現代について、(7) その他
2	3月24日(火)	(1) 平成 26 年度市史・町史編さん事業の実施状況について、(2) 相模原市史文化遺産編について、(3) 津久井町史通史編近世・近代・現代について、(4) 相模原市史近代資料編について、(5) 津久井町史通史編 原始・古代・中世について(6) 津久井町史文化遺産編について(7) その他

#### (2) 市史編集委員会

ア 趣旨及び委員構成

市史の編集方針及び執筆内容を検討する委員会。任期 2 年、委員 10 人、年 2 回開催

イ 活動状況

回	開催日	おもな内容
1	8月6日(水)	(1) 平成 25 年度及び平成 26 年度市史編さん事業の実施状況について、(2) 平成 26 年度市史編さん事業について、(3) 文化遺産編の章立てについて
2	3月4日(水)	(1) 平成 26 年度市史編さん事業の実施状況について、(2) 相模原市史文化遺産編について(3) 相模原市史近代資料編について

### (3) 各専門部会の活動状況

#### 近現代部会

- ア 部会の開催（近代資料編への取り組みについて）  
9日（4月12日、6月21日、7月26日、8月30日、9月27日、11月1日、  
12月13日、27年1月24日、27年3月14日）
- イ 特別閲覧が実施された「昭和天皇実録」に掲載されている相模原関係記事に関する調査）  
平成26年11月22日（土）皇居内宮内庁書陵部庁舎

#### 文化遺産部会

- ア 部会の開催（文化遺産編の編集について）  
3日（5月9日、9月9日、12月19日）
- イ 神輿・山車の追加調査  
3日（7月19日、7月26日、8月3日）
- ウ 社寺彫刻等写真撮影  
9日（8月18日、9月8日、11月10日、11月17日、11月24日、12月  
1日、12月8日、27年1月19日、27年1月26日）
- エ 近代化遺産に関する調査  
5日（9月14日、10月28日、11月4日、12月7日、27年1月6日）
- オ 文化遺産編の刊行  
『相模原市史 文化財編』A4判縦、フルカラー、549ページ、1,200部

### (4) 普及事業

- ア 『相模原市史ノート』第12号の発行 A5判、100ページ、700部、  
平成27年3月31日発行
- イ 市史講演会 「市民意識の形成 市民は相模原市を愛しているか」  
内 容 1954年（昭和29年）の市制施行時には人口が8万人台であった相模原  
市は、政令指定都市となった2010年（平成22年）には約70万人を擁す  
る大都市になっていた。市制施行時には予想もしなかった市域の拡大と人口の  
急増は農村的な風景を都市的景観に変え、地域社会と人間関係をも変えていっ  
た。市民は変化する相模原市をどのように考え、何を望んできたのか。市政・  
生活・環境・市民活動などへの市民意識の形成と変化をたどっていく。  
実施日 9月21日（日）  
参加者 44人  
講 師 大島 英夫さん（市史編集委員会近現代部会調査執筆員）
- ウ 市史刊行物の販売  
各行政資料コーナー、博物館で販売  
相模原市書店協同組合加盟店での販売を実施（平成20年4月～）  
現在は14店舗で販売を実施

## 2 津久井町史

### (1) 町史編集委員会

町史編さんに必要な資料調査・収集を行うとともに、刊行物の企画及び構成の検討・編集等を行う委員会。任期 2 年、委員 15 人。なお、委員会は、平成 20 年 8 月の要綱改正により、必要に応じて編集委員長が招集し、部会及び特別部会ごとに開催する。

10 月 28 日(火)に委員会を開催し、通史編『近世・近代・現代』の刊行、今後のスケジュールについて確認・検討を行った。

### (2) 各専門部会の活動状況

町史編集委員会に設置された原始・古代、中世、近世、近代・現代、自然の各部会及び合同部会長会議を開催し、刊行物の構成の検討や刊行に向けた調査・執筆、編集作業を行った。

#### 原始・古代部会

ア 部会の開催(通史編の執筆内容、目安とするページ数の検討など)

2 日(7 月 19 日、27 年 2 月 7 日)

イ 調査の実施

・考古資料調査 遺物確認や現地踏査等の調査を随時実施

#### 中世部会

ア 調査の実施

・中世資料調査 後北条氏文書等中世文書や関連文献等の調査を随時実施

#### 近世部会

ア 部会の開催(通史編『近世・近代・現代』の執筆内容や進行状況等について確認・検討)

3 日(7 月 29 日、9 月 12 日、10 月 28 日)

イ 調査の実施

・近世資料調査 御用留等古文書資料や関連文献等の調査を随時実施

#### 近代・現代部会

ア 分科会の開催(通史編『近世・近代・現代』の執筆内容や進行状況等について時代別に確認・検討)

・近代分科会 2 日(5 月 30 日、9 月 9 日)

・現代分科会 4 日(4 月 16 日、7 月 9 日、8 月 26 日、9 月 30 日)

イ 調査の実施

・近代資料調査 個人・機関所蔵資料や関連文献等の調査を随時実施

・現代資料調査 旧支所文書や個人・機関所蔵資料、関連文献等の調査を随時実施

#### 文化遺産部会

ア 委嘱式及び部会の開催(委嘱状交付及び部会長選出、津久井町史編さん事業、文化遺産編、今後のスケジュールについて確認・検討)

2 日(10 月 29 日、27 年 2 月 7 日)

#### 通史編特別部会

ア 部会の開催(通史編『近世・近代・現代』の経過や全体構成、執筆要項等について確認・検討)

1 日(8 月 13 日)

イ 通史編 近世・近代・現代の刊行

・『津久井町史 通史編 近世・近代・現代』 A5 判縦、口絵カラー 8 ページ

本文白黒 947 ページ

合同部会長会議

- ア 会議の開催（平成 26 年度町史編さん事業の実施状況について、通史編『近世・近代・現代』について、通史編『原始・古代・中世』について、文化遺産編について、刊行スケジュールについて、その他）  
1日（27年3月11日）

**（3）普及事業**

- ア 町史刊行物の販売  
津久井町史資料編及び自然編、附帯刊行物  
市立博物館、各行政資料コーナー

相模原市書店協同組合加盟店（17店舗）での販売を実施（平成20年4月～）  
現在は14店舗で販売を実施

## 博物館関連施設

### 1 尾崎弔堂記念館（緑区又野）



尾崎弔堂記念館は、「憲政の神」といわれた尾崎行雄（弔堂）を多くの人に知ってもらおうと、生誕地である尾崎家代々の屋敷跡に昭和 32 年 1 月に、「尾崎弔堂うまれ地記念事業委員会」によって建設された。昭和 33 年度に旧津久井町に寄贈され、平成 18 年 3 月の相模原市との合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

敷地内には、尾崎自身の筆による「善悪乃標準の碑」が建てられており、館内には写真や肖像画、遺品のほかに幅広い活動の足跡を物語る資料が保存、展示されている。

#### （1）施設概要

ア 延べ床面積	229.62㎡
イ 建物構造	木造 瓦葺き 平屋建て
ウ 入館料	無料

#### （2）善悪乃標準の碑

敷地内に入って、右手にある秩父産の花崗岩でできた高さ 3メートル、幅 50センチメートルの碑面には、表題のほか「世人乃幸福をまず言行八みな善事之をへらす言行八みな悪事」の文が刻まれている。碑は、東京都港区・故上木長氏の建立であったが、弔堂ゆかりの地に保存したいとの希望を受けて、昭和 46 年に現在の場所に移設された。

#### （3）弔堂桜・里帰り桜

尾崎行雄が東京市長在職中の明治 45 年、米国ワシントンのポトマック公園に 3,000 本の桜の苗木を贈り、「日米友好の証」を築いたことはよく知られている。ワシントンから東京都足立区に里帰りした染井吉野など 4 品種の桜苗木を『弔堂桜』と命名、その内の『普賢象』1 本が平成 4 年記念館の庭に植樹された。

また、平成 24 年には桜寄贈 100 周年を記念し、新たな里帰り桜が有志により植栽された。

### 2 吉野宿ふじや（緑区吉野）



吉野宿は、江戸時代初期に定められた五街道のひとつ、「甲州道中」の 10 番目の宿場で江戸と甲府の中間にあたり、高遠藩・飯田藩・高島藩（諏訪藩）の参勤交代の常宿として栄えた。

「ふじや」は、かつて、旅籠「藤屋」として営まれていた前身の建物が、明治 29 年の大火で焼失した後、明治 30 年頃に建てられたものと言われている。

平成元年に旧藤野町に建物が寄贈され、郷土資料館として開館した。また、平成 24 年に国道 20 号改良工事（歩道設置）に伴う曳家による移設及び改修が完了し、平成 25 年 7 月 2 日にリニューアルオープンした。なお、平成 26 年 4 月 1 日には吉野宿において旅籠の名残を留めるとともに、養蚕住宅の変遷を考える上で貴重な建物として市登録文化財に登録された。

#### (1) 施設概要

ア 延べ床面積	392.51㎡
イ 建物構造	木造 2階建て 垂鉛葺き
ウ 入館料	無料

### 3 津久井郷土資料室（緑区中野）



昭和 27 年に県養蚕取締所として建築され、昭和 46 年から津久井郷土資料館として開館した。

また、平成 18 年 3 月の相模原市との合併に伴い相模原市教育委員会が所管引継ぎした。

収蔵品には、緑区若柳出身の郷土史家・故鈴木重光氏の収集した明治から昭和にかけて発刊された「少年倶楽部」「幼年倶楽部」「少女倶楽部」「婦人倶楽部」「少年世界」「少女世界」「婦人世界」「キング」、明治に発行された講談本・日本のお伽噺・世界お伽噺など、膨大なコレクションを所蔵している。

また、神奈川県下市町村が発行した自治体史の資料なども多数所蔵している。

#### (1) 江戸時代の教科書

江戸時代の寺子屋で使っていた和綴じ古文書（女大学、日本地志など）、江戸、明治、大正、昭和（戦前、戦中、戦後）にかけての貴重な教科書が収蔵されている。

#### (2) むかしの農機具や生活用具

大きな鋸、箱ゼン（食事に使用）、葉箱、葉調合器、織機、消防器具、農機具などを所蔵している。

津久井郷土資料室は施設の老朽化と再整理のため、平成 27 年 3 月 31 日をもって一般公開を休止した。

## 4 入館者数一覧

## ( 1 ) 尾崎号堂記念館

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均 (人)
22年度	1,364	295	4.6
23年度	1,674	295	5.7
24年度	1,767	294	6.0
25年度	1,593	293	5.4
26年度	1,593	295	5.4
合 計	7,991	1,472	5.4

## ( 2 ) 津久井郷土資料室

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均 (人)
22年度	748	290	2.6
23年度	562	292	1.9
24年度	513	291	1.8
25年度	556	289	1.9
26年度	592	292	2.0
合 計	2,971	1,454	2.0

## ( 3 ) 吉野宿ふじや

	利用人数(人)	開館日数(日)	1日平均 (人)
22年度	1,874	304	6.2
23年度	1,094	308	3.6
24年度	2,132	*1 183	11.7
25年度	1,767	*2 228	7.8
26年度	3,202	307	10.4
合 計	10,069	1,330	7.6

休館期間 \*1 工事による休館 平成24年11月1日～平成25年3月31日

\*2 工事による休館 平成25年4月1日～7月1日

積雪による休館 平成26年2月18日～2月26日

発行日 平成 27 年 4 月 1 日  
相模原市立博物館  
住所 〒252-0221 相模原市中央区高根 3 - 1 - 15  
TEL 042 - 750 - 8030  
FAX 042 - 750 - 8061  
e-mail [hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:hakubutsukan@city.sagamihara.kanagawa.jp)  
URL <http://sagamiharacitymuseum.jp/>